

第 1 章

母子保健統計

本書で用いる用語の説明

- 1 出生率 = $\frac{1 \text{ 年間の出生数}}{\text{人 口}} \times 1,000$
- 2 合計特殊出生率 = $\left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\}$ 15歳から49歳までの合計
- 3 妊産婦死亡率 = $\frac{\text{妊産婦死亡数}}{\text{出産 (出生数+死産数) 数}} \times 100,000$
死産とは妊娠満12週(第4月)以後のものをいう。
- 4 乳児死亡率 = $\frac{1 \text{ 歳未満の死亡数}}{\text{出生数}} \times 1,000$
- 5 新生児死亡率 = $\frac{\text{生後 4 週 (28日) 未満の死亡数}}{\text{出 生 数}} \times 1,000$
- 6 早期新生児死亡率 = $\frac{\text{生後 1 週未満の死亡数}}{\text{出 生 数}} \times 1,000$
- 7 周産期死亡率 = $\frac{\text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数}}{\text{出産 (出生数+妊娠22週以後の死産数) 数}} \times 1,000$
- 8 死産率 (自然死産率・人工死産率) = $\frac{\text{死産 (自然・人工) 数}}{\text{出産 (出生+死産) 数}} \times 1,000$
死産とは妊娠満12週(第4月)以後のものをいう。人工死産は人工妊娠中絶のうち、妊娠満12週(第4月)から妊娠22週(第6月)未満のものをいう。
- 9 妊娠満22週以後の死産率 = $\frac{\text{妊娠満22週以後の死産数}}{\text{出産 (出生数+妊娠22週以後の死産数) 数}} \times 1,000$
- 10 人工妊娠中絶実施率 = $\frac{\text{人工妊娠中絶総件数}}{\text{15歳以上50歳未満女子総人口}} \times 1,000$
- 11 20歳未満人工妊娠中絶実施率 = $\frac{\text{20歳未満の人工妊娠中絶件数}}{\text{15歳以上20歳未満女子総人口}} \times 1,000$

I 母子保健に関する統計

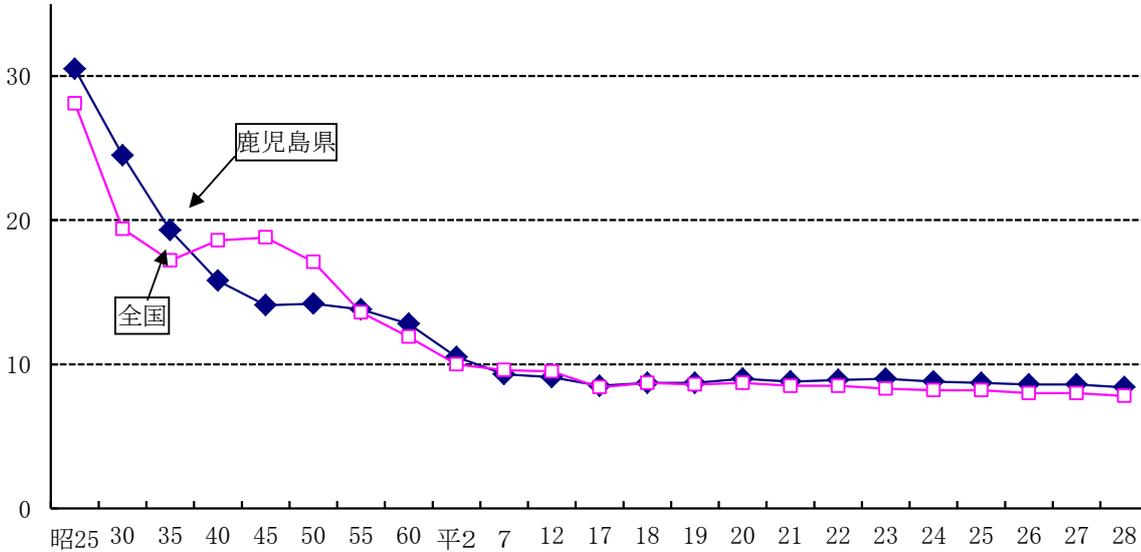
1 出生

(1) 出生数・率

本県の平成28年の出生数は13,688人で、平成27年の14,125人より437人減少し、出生率は8.4であった。また、1人の女性が一生に生む子どもの数を表すといわれる合計特殊出生率は、平成28年は1.7となり、平成27年と同様である。

人口千対

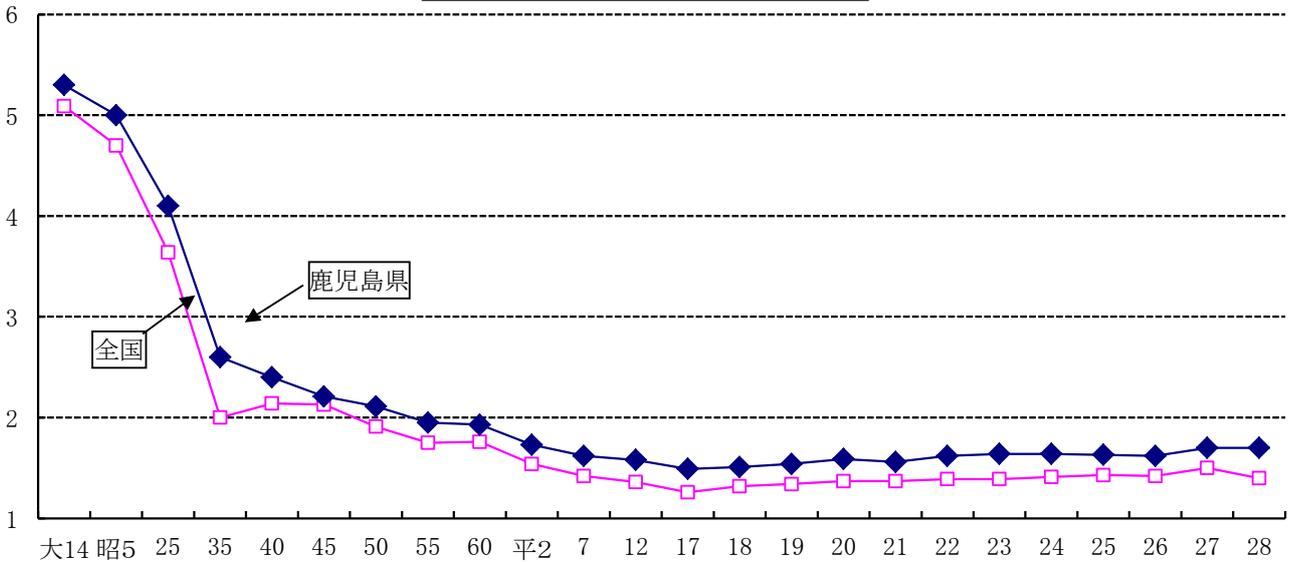
図1 出生率の年次推移



年次	昭25	30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
鹿児島県	30.5	24.5	19.3	15.8	14.1	14.2	13.8	12.8	10.5	9.3	9.1	8.5	8.7	8.7	9.0	8.8	8.9	9.0	8.8	8.7	8.6	8.6	8.4
全国	28.1	19.4	17.2	18.6	18.8	17.1	13.6	11.9	10.0	9.6	9.5	8.4	8.7	8.6	8.7	8.5	8.5	8.3	8.2	8.2	8.0	8.0	7.8

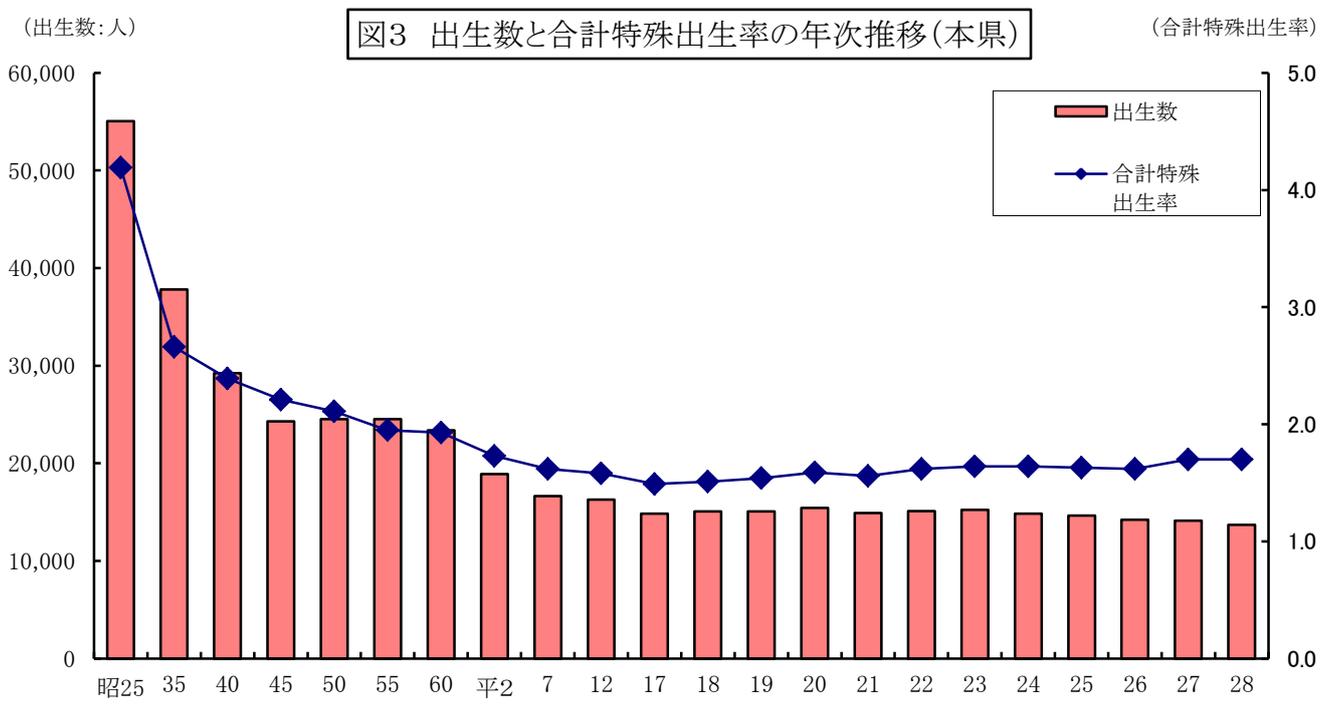
資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図2 合計特殊出生率の年次推移

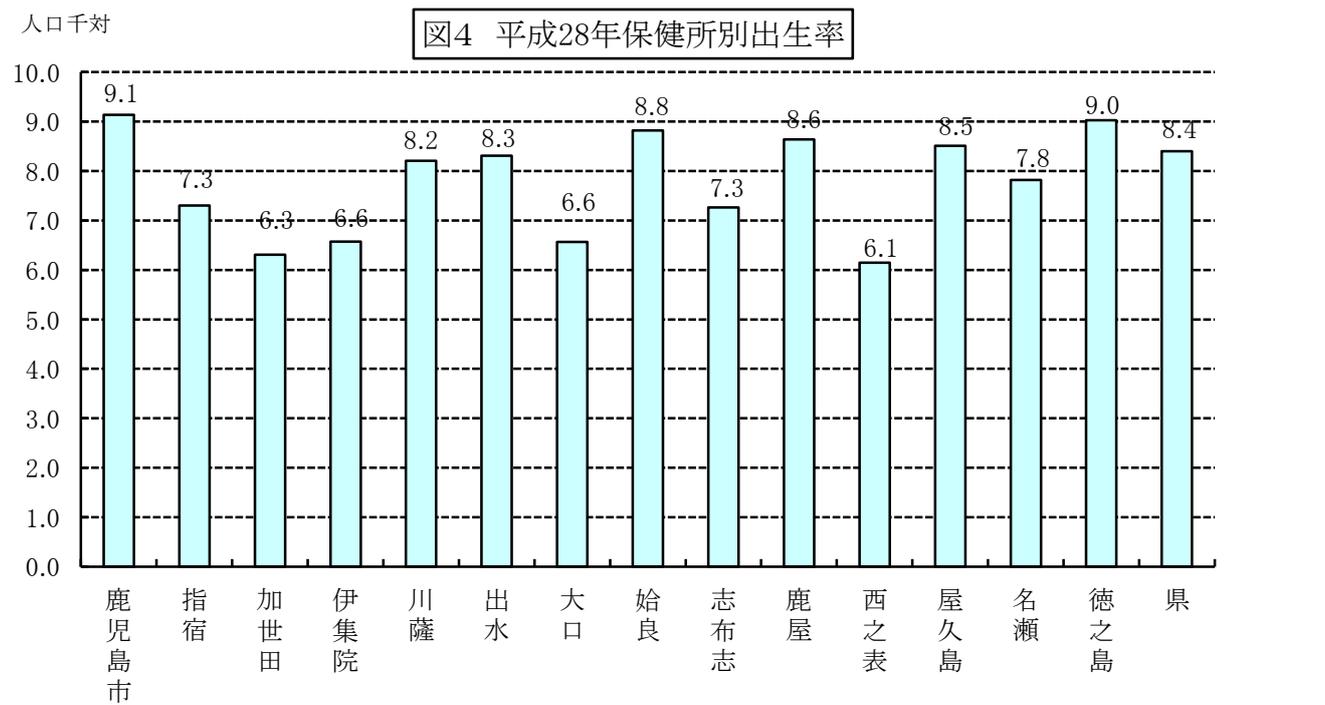


年次	大14	昭5	25	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
鹿児島県	5.3	5.0	4.1	2.6	2.4	2.2	2.1	2.0	1.9	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7
全国	5.1	4.7	3.6	2.0	2.1	2.1	1.9	1.8	1.8	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.4

資料:本県「衛生統計年報」、厚生労働省「人口動態統計」、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2009」(大14～昭25)



資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
出生数	5,474	301	582	519	963	703	173	1,863	581	1,342	180	108	529	370	13,688
出生率	9.1	7.3	6.3	6.6	8.2	8.3	6.6	8.8	7.3	8.6	6.1	8.5	7.8	9.0	8.4

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

(2) 出生順位別出生割合

生まれた子はその母親の何番目の子にあたるかについて見てみると、本県では昭和30年には第3子以上が全出生数の55.0%を占めていたが、その後減少傾向となり、平成17年が18.7%と最も低かった。その後、微増し平成28年には24.3%となった。

図5 昭和30年出生順位出生割合

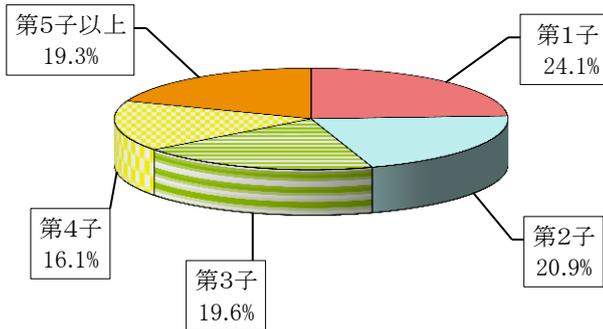
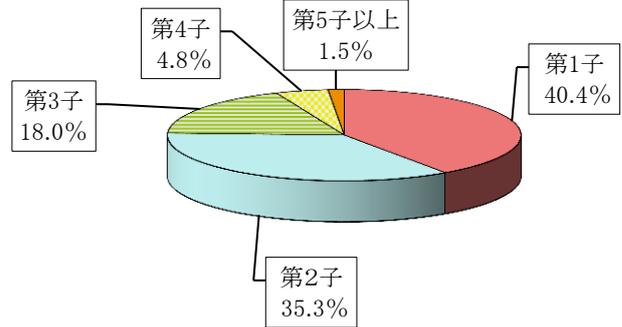


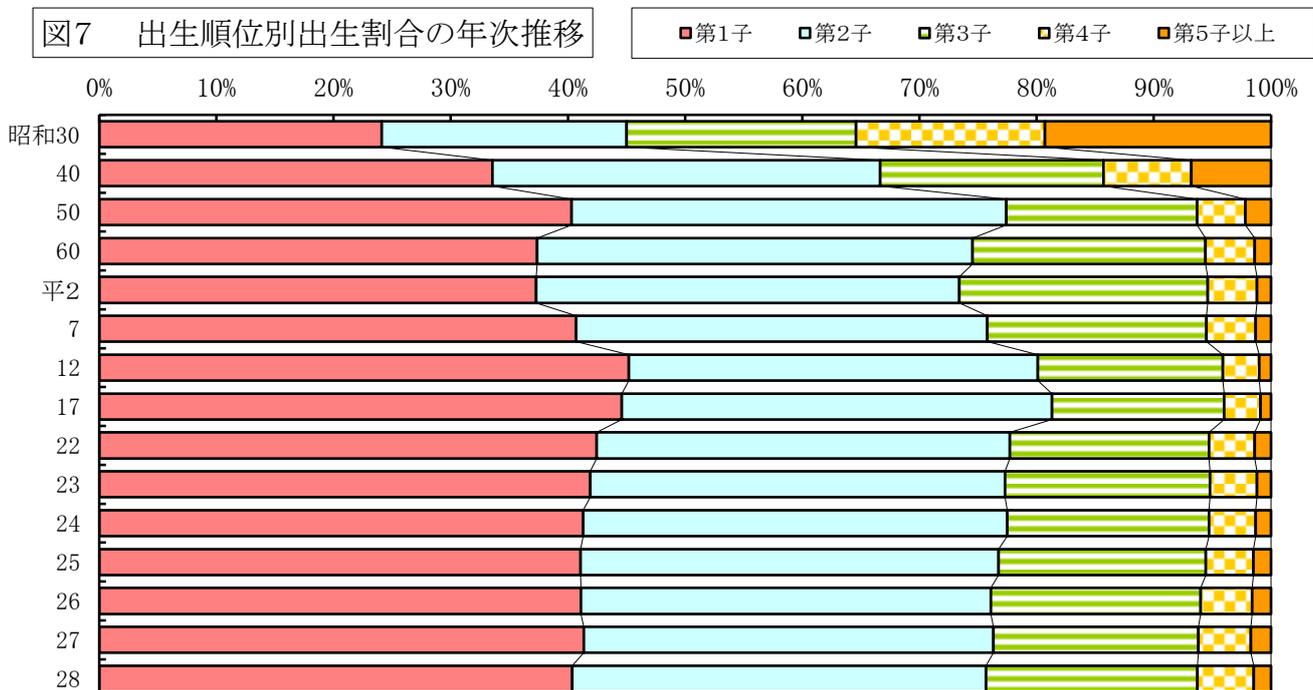
図6 平成28年出生順位出生割合



年次	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和30	12,059	24.1	10,425	20.9	9,773	19.6	8,069	16.1	9,653	19.3
40	9,814	33.6	9,687	33.1	5,575	19.1	2,183	7.5	1,984	6.8
50	9,883	40.3	9,098	37.1	4,003	16.3	1,011	4.1	526	2.2
60	8,731	37.4	8,697	37.2	4,639	19.9	975	4.2	333	1.4
平2	7,053	37.3	6,815	36.1	4,012	21.2	789	4.2	223	1.2
7	6,765	40.7	5,843	35.1	3,109	18.7	710	4.2	222	1.3
12	7,357	45.2	5,681	34.9	2,560	15.8	506	3.1	168	1.0
17	6,615	44.6	5,444	36.7	2,175	14.7	456	3.1	144	0.9
22	6,428	42.5	5,334	35.3	2,570	17.0	586	3.9	206	1.4
23	6,394	41.9	5,392	35.4	2,664	17.5	607	4.0	187	1.2
24	6,129	41.3	5,371	36.2	2,547	17.2	598	4.0	196	1.3
25	6,012	41.1	5,223	35.7	2,588	17.7	593	4.1	221	1.5
26	5,848	41.1	4,989	35.0	2,545	17.9	626	4.4	228	1.6
27	5,842	41.4	4,947	35.0	2,470	17.5	631	4.5	235	1.7
28	5,525	40.4	4,834	35.3	2,468	18.0	660	4.8	201	1.5

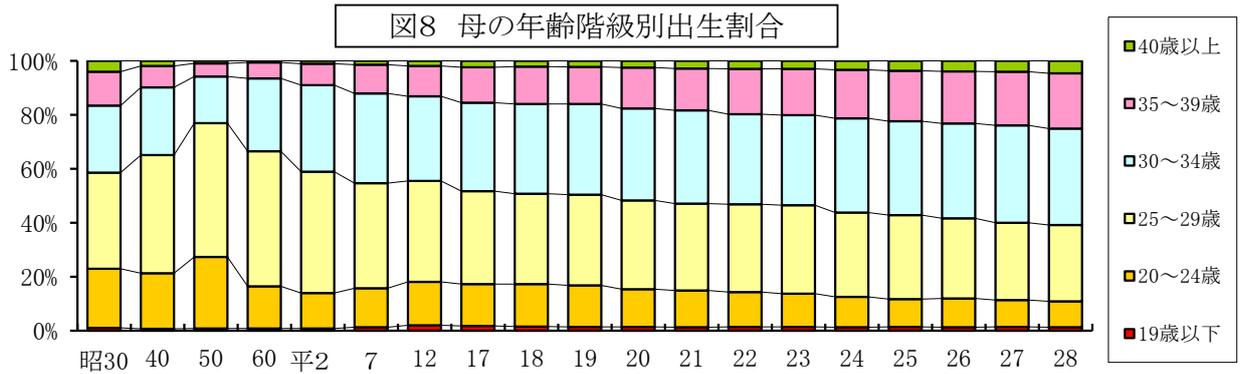
資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図7 出生順位別出生割合の年次推移



(3) 母の年齢階級別出生割合

平成28年の母の年齢階級別出生割合は、本県では25.1%が35歳以上であり、国の28.5%に比べると低いが、増加傾向にある。



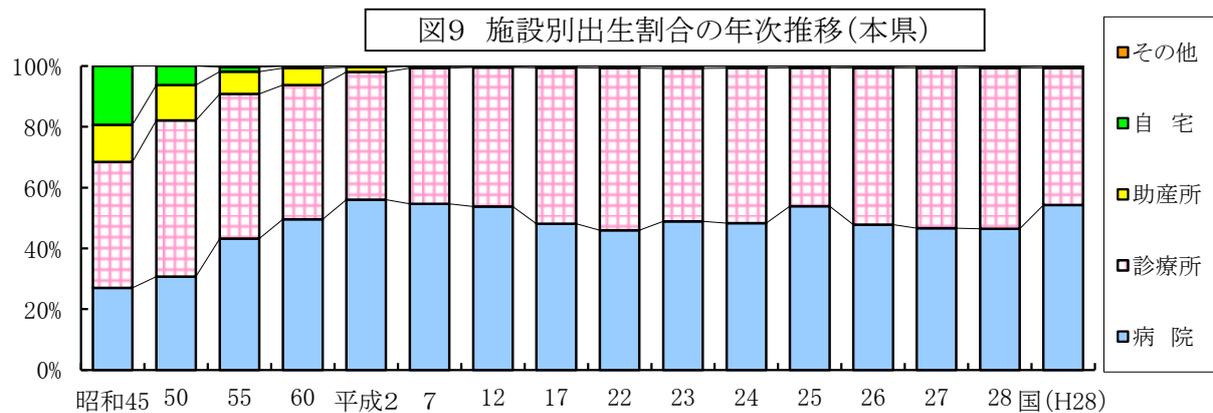
(単位 %)

	昭30	40	50	60	平2	7	12	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	国(H28)
40歳以上	4.0	1.9	0.9	0.6	1.0	1.4	1.9	2.3	2.1	2.2	2.4	2.8	2.9	2.9	3.3	3.6	3.9	4.0	4.6	5.6
35~39歳	12.5	7.9	4.8	5.9	8.0	10.6	11.2	13.1	13.8	13.7	15.2	15.5	16.8	17.2	17.9	18.7	19.3	19.9	20.5	22.9
30~34歳	24.8	25.2	17.3	27.0	32.0	33.3	31.3	32.8	33.3	33.6	34.1	34.6	33.4	33.4	35.0	34.8	35.1	36.1	35.7	36.3
25~29歳	35.6	44.0	49.5	50.0	45.0	39.0	37.5	34.5	33.5	33.7	32.9	32.2	32.5	32.7	31.2	31.2	29.7	28.7	28.4	25.7
20~24歳	21.9	20.7	26.6	15.6	13.1	14.5	16.0	15.5	15.7	15.3	13.9	13.6	12.9	12.4	11.3	10.3	10.6	10.0	9.6	8.4
19歳以下	1.1	0.7	0.8	0.9	0.9	1.3	2.1	1.8	1.6	1.5	1.5	1.3	1.4	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3	1.1

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

(4) 施設別出生割合

平成28年は本県でも全国と同様に病院・診療所における出生が99.3%と大部分を占めている。また、昭和50年と比較すると、助産所・自宅での出生が大幅に少なくなっている。



年次	出生数	病院		診療所		助産所		自宅		その他	
		数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和45	24,311	6,552	27.0	10,085	41.4	2,960	12.2	4,714	19.4	-	-
50	24,521	7,516	30.7	12,622	51.4	2,846	11.6	1,537	6.3	-	-
55	24,540	10,615	43.2	11,670	47.6	1,803	7.3	356	1.5	96	0.4
60	23,375	11,825	50.6	10,526	45.0	853	5.6	130	0.6	41	0.2
平成2	18,892	10,588	56.0	7,929	42.0	290	1.6	51	0.3	18	0.1
7	16,649	9,099	54.7	7,430	44.6	76	0.5	36	0.2	8	0.0
12	16,272	8,746	53.8	7,445	45.8	47	0.3	24	0.1	10	0.1
17	14,834	7,140	48.1	7,604	51.3	72	0.5	15	0.1	3	0.0
22	15,124	6,956	46.0	8,057	53.3	94	0.6	15	0.1	2	0.0
23	15,244	7,454	48.9	7,668	50.3	100	0.7	17	0.1	5	0.0
24	14,841	7,172	48.3	7,566	51.0	83	0.6	16	0.1	4	0.0
25	14,637	7,885	53.9	6,662	45.5	74	0.5	14	0.1	2	0.0
26	14,236	6,813	47.9	7,324	51.4	72	0.5	22	0.2	5	0.0
27	14,125	6,595	46.7	7,426	52.6	89	0.6	12	0.1	3	0.0
28	13,688	6,355	46.4	7,234	52.8	71	0.5	25	0.2	3	0.0
国(H28)	976,978	530,172	54.3	439,371	45.0	5,968	0.6	1,168	0.1	299	0.0

資料:本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

注)昭和45年,50年の「自宅」の数は、「自宅及びその他」の合計数である。

2 妊産婦死亡

全国的にみると、若干の変動はあるものの漸次減少傾向を示している。
 本県においては、平成2年以降、妊産婦死亡数は0～2人で推移している。

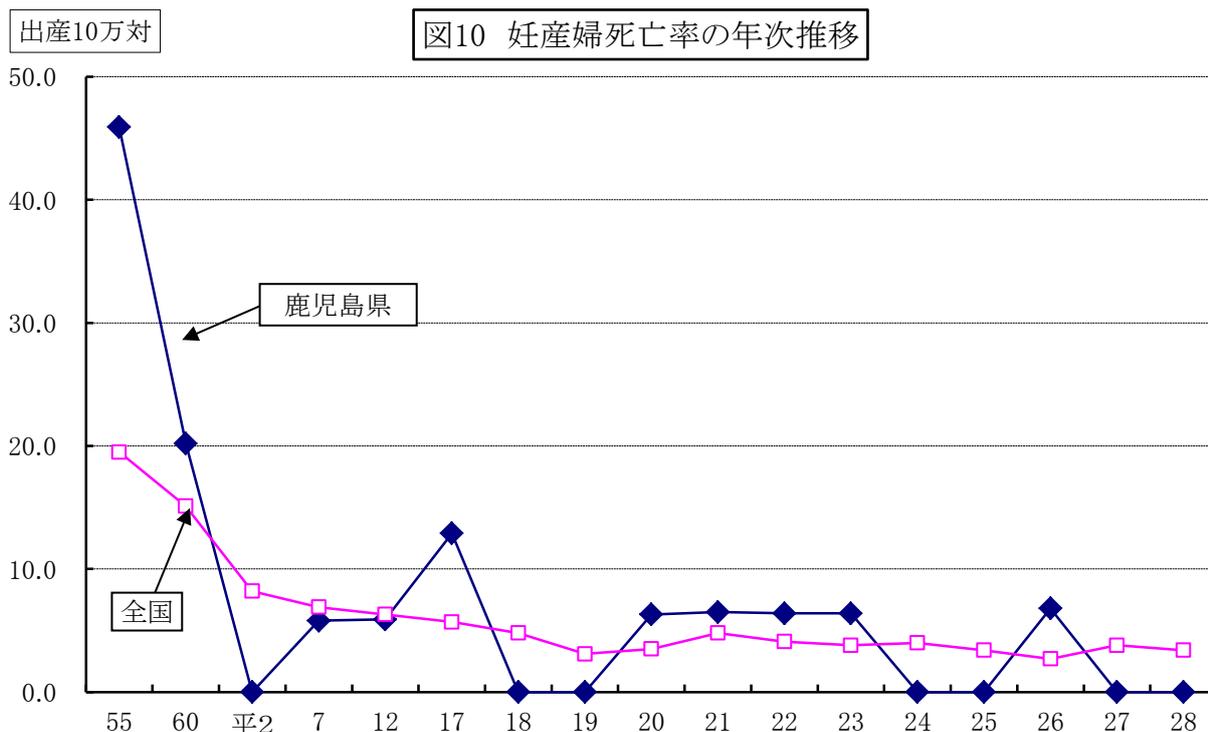


表1 妊産婦死亡数及び率の年次推移 (出産10万対)

年次	鹿 児 島 県		全 国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭25	96人	17.4	4,117人	17.6
30	84	16.8	3,095	17.9
35	64	16.9	2,097	13.1
40	39	13.3	1,597	8.8
45	30	12.4	1,008	5.2
50	8	3.3	546	2.9
55	12	45.9	323	19.5
60	5	20.2	226	15.1
平2	0	0.0	105	8.2
7	1	5.8	85	6.9
12	1	5.9	78	6.3
17	2	12.9	62	5.7
18	0	0.0	54	4.8
19	0	0.0	35	3.1
20	1	6.3	39	3.5
21	1	6.5	53	4.8
22	1	6.4	45	4.1
23	1	6.4	41	3.8
24	0	0.0	42	4.0
25	0	0.0	36	3.4
26	1	6.8	28	2.7
27	0	0.0	39	3.8
28	0	0.0	34	3.4

* 妊産婦死亡率は、昭和53年までは出生万対である。

資料：本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

3 乳児死亡・新生児死亡

(1) 乳児死亡・新生児死亡数

本県の乳児死亡数・率は、昭和30年には1,693人(出生千対33.9)であったが、その後、多少の変動をしながら減少しており、平成28年は32人(出生千対2.3)であった。

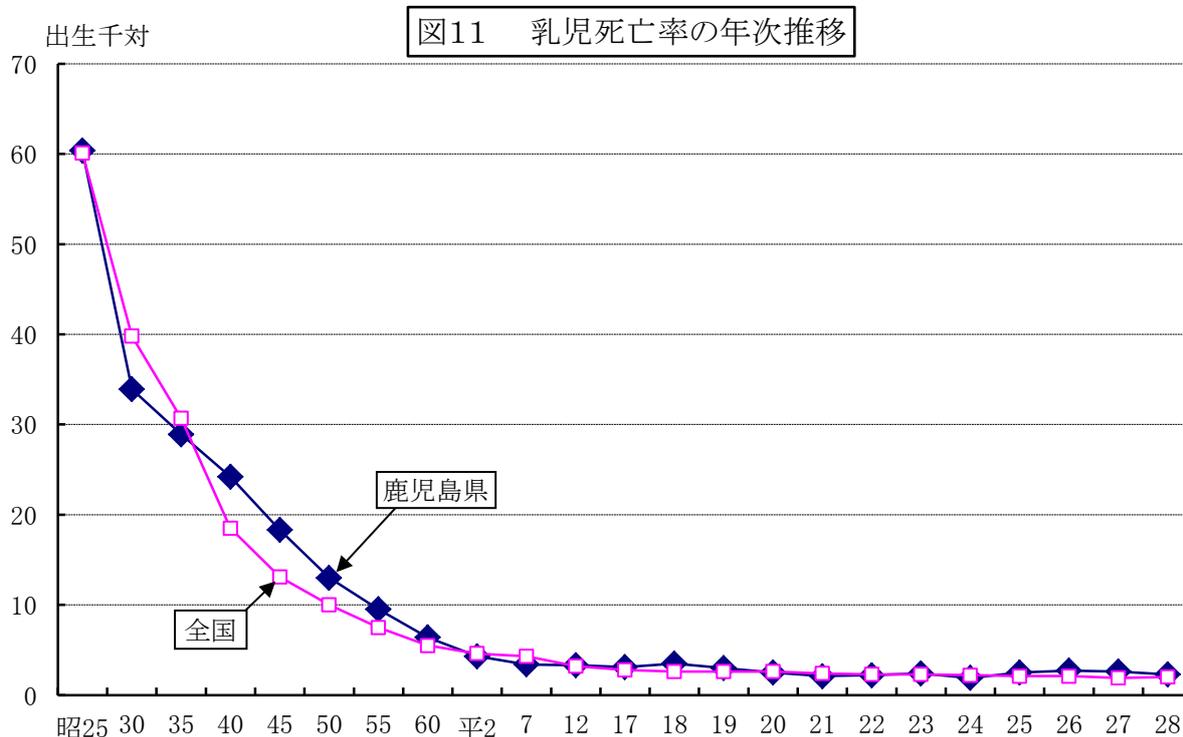
また、新生児死亡数・率については、昭和30年には824人(出生千対16.5)であったが、平成28年は9人(出生千対0.7)となった。

平成28年は、全国と比較すると、乳児死亡率は高いものの、新生児死亡率は低い水準となっている。

表2 乳児・新生児死亡数及び率(出生千対)の年次推移

年次	鹿 児 島 県				全 国			
	乳 児		新 生 児		乳 児		新 生 児	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭25	3,325	60.4	—	—	140,525	60.1	64,142	27.4
30	1,693	33.9	824	16.5	68,801	39.8	38,646	22.3
35	1,094	28.9	525	13.6	49,293	30.7	27,362	17.0
40	709	24.2	442	15.1	33,742	18.5	21,260	11.7
45	446	18.3	267	11.0	25,412	13.1	16,742	8.7
50	319	13.0	201	8.2	19,103	10.0	12,918	6.8
55	233	9.5	144	5.9	11,841	7.5	7,795	4.9
60	150	6.4	90	3.9	7,899	5.5	4,910	3.4
平2	81	4.3	45	2.4	5,616	4.6	3,177	2.6
7	56	3.4	24	1.4	5,054	4.3	2,615	2.2
12	53	3.3	18	1.1	3,830	3.2	2,106	1.8
17	46	3.1	17	1.1	2,958	2.8	1,510	1.4
18	53	3.5	17	1.1	2,864	2.6	1,444	1.3
19	46	3.0	23	1.5	2,828	2.6	1,434	1.3
20	38	2.5	13	0.8	2,798	2.6	1,331	1.2
21	31	2.1	14	0.9	2,556	2.4	1,254	1.2
22	34	2.2	15	1.0	2,450	2.3	1,167	1.1
23	36	2.4	15	1.0	2,463	2.3	1,147	1.1
24	28	1.9	13	0.9	2,299	2.2	1,065	1.0
25	37	2.5	14	1.0	2,185	2.1	1,026	1.0
26	38	2.7	17	1.2	2,080	2.1	952	0.9
27	37	2.6	15	1.1	1,916	1.9	902	0.9
28	32	2.3	9	0.7	1,928	2.0	874	0.9

資料:厚生労働省「人口動態統計」



出生千対

図12 新生児死亡率の年次推移

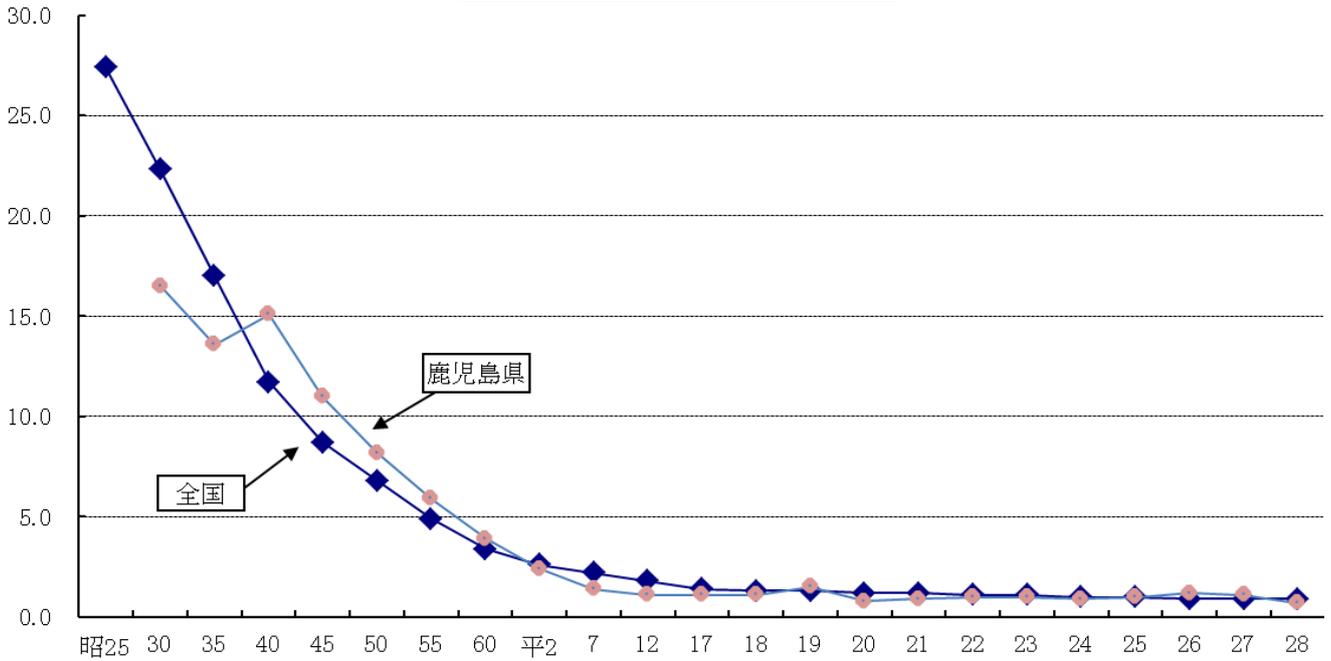
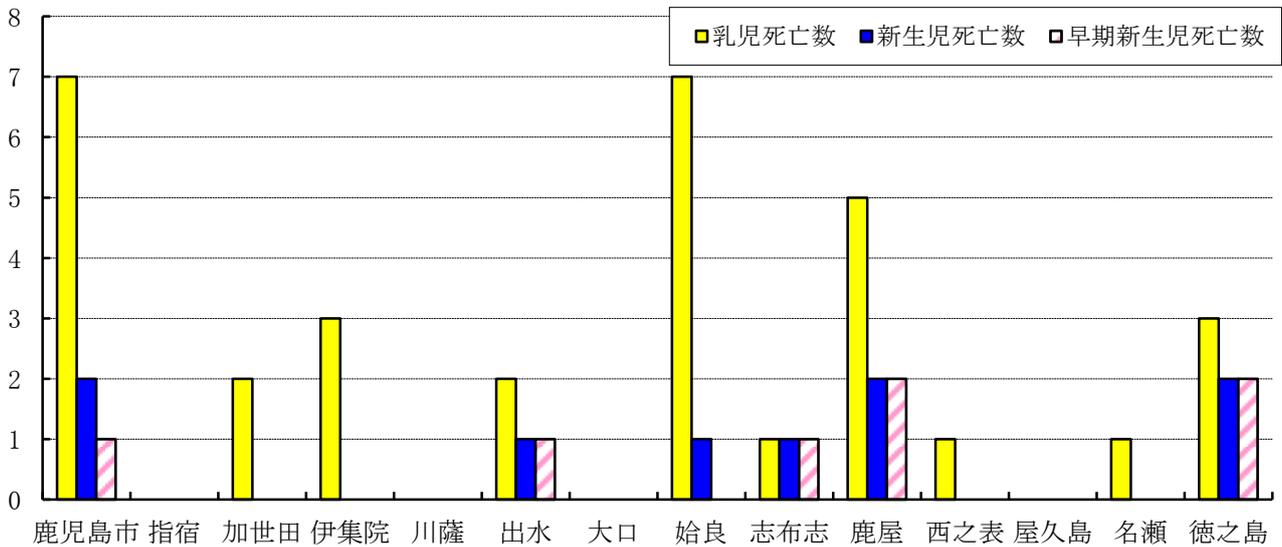


図13 平成28年保健所別 乳児・新生児・早期新生児死亡数

人



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県	全国
乳児死亡数	7	0	2	3	0	2	0	7	1	5	1	0	1	3	32	1,928
乳児死亡率	1.3	0.0	3.4	5.8	0.0	2.8	0.0	3.8	1.7	3.7	5.6	0.0	1.9	8.1	2.3	2.0
新生児死亡数	2	0	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	2	9	874
新生児死亡率	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.5	1.7	1.5	0.0	0.0	0.0	5.4	0.7	0.9
早期新生児死亡数	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	2	7	676
早期新生児死亡率	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.7	1.5	0.0	0.0	0.0	5.4	0.5	0.7
出生数	5,474	301	582	519	963	703	173	1,863	581	1,342	180	108	529	370	13,688	976,978

資料:厚生労働省「人口動態統計」

(2) 生存期間別乳児死亡

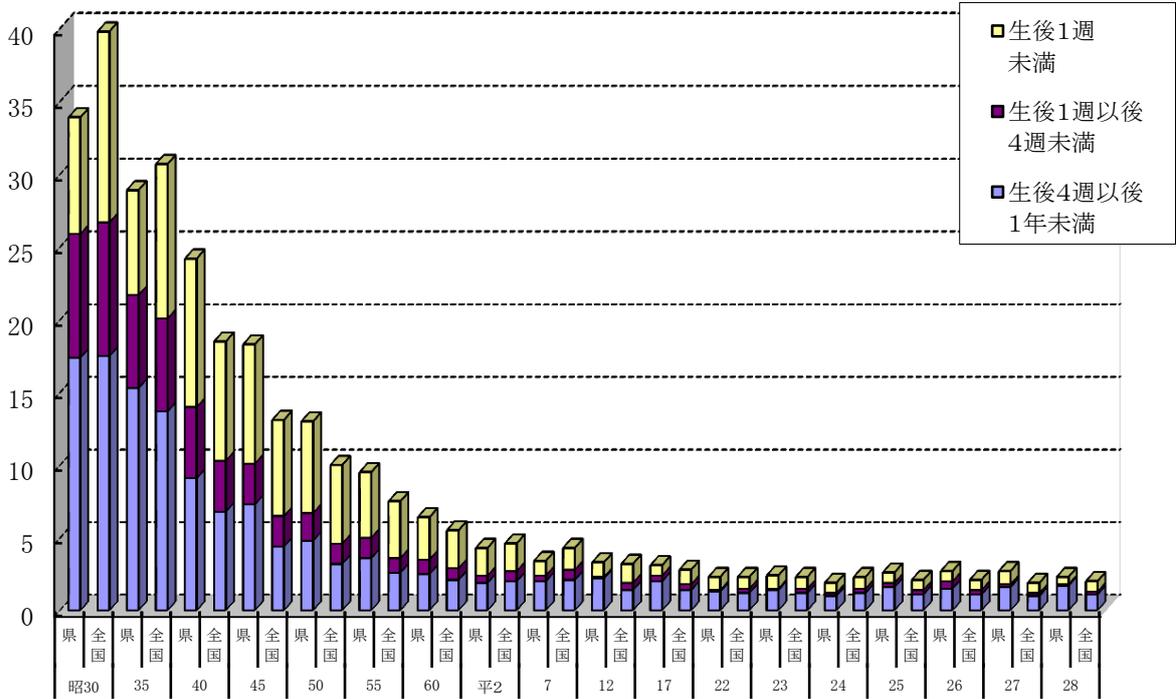
生存期間別乳児死亡率の年次推移については、低率で推移している。

平成28年については、生後1週未満の早期新生児死亡率は0.5、生後1週以後4週未満の新生児死亡率は0.1であり、全国より低率であったが、生後4週以後1年未満の乳児死亡率は1.7であり、全国より高率であった。

また、生存期間別に乳児死亡割合をみると、約5人に1人(21.9%)が早期新生児死亡である。

出生千対

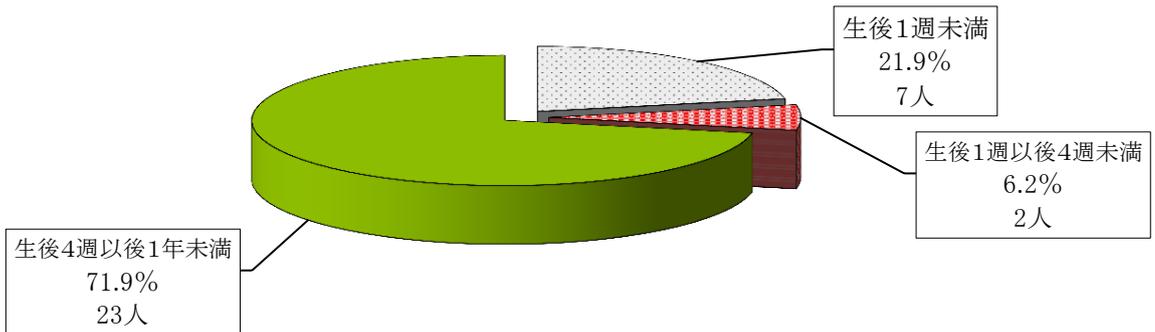
図14 生存期間別乳児死亡率年次推移



区分	昭30		35		40		45		50		55		60		平2		7		12		17		22		23		24		25		26		27		28	
	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国										
生後4週以後1年未満	17.4	17.5	15.3	13.7	9.1	6.8	7.3	4.4	4.8	3.2	3.6	2.6	2.5	2.1	1.9	2.0	2.0	2.1	2.2	1.4	2.0	1.4	1.3	1.2	1.4	1.2	1.0	1.2	1.6	1.1	1.5	1.1	1.6	1.0	1.7	1.1
生後1週以後4週未満	8.5	9.2	6.4	6.4	4.9	3.5	2.8	2.1	1.9	1.4	1.4	1.0	1.0	0.8	0.5	0.7	0.4	0.7	0.1	0.5	0.4	0.4	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2
生後1週未満	8.0	13.1	7.2	10.6	10.2	8.2	8.2	6.6	6.3	5.4	4.5	3.9	2.9	2.6	1.9	1.9	1.0	1.5	1.0	1.3	0.7	1.0	0.9	0.8	0.9	0.8	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.9	0.7	0.5	0.7
乳児死亡率	33.9	39.8	28.9	30.7	24.2	18.5	18.3	13.1	13.0	10.0	9.5	7.5	6.4	5.5	4.3	4.6	3.4	4.3	3.3	3.2	3.1	2.8	2.2	2.3	2.4	2.3	1.9	2.2	2.5	2.1	2.7	2.1	2.6	1.9	2.3	2.0

資料：厚生労働省「人口動態統計」

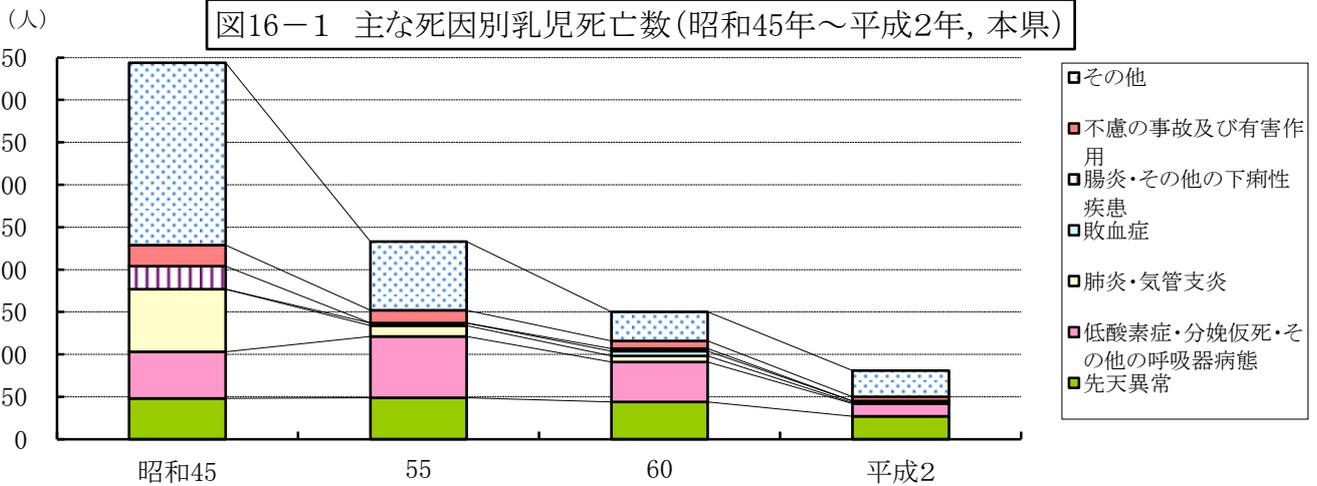
図15 生存期間別乳児死亡構成割合
(平成28年 乳児死亡数32人, 本県)



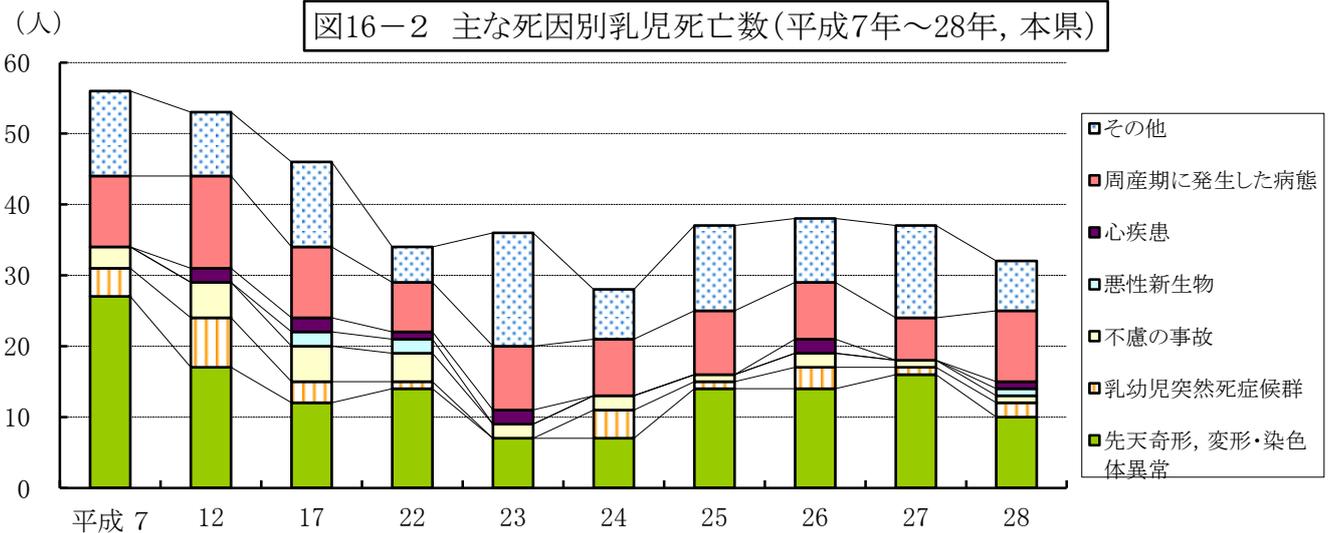
(3) 乳児死亡の原因

死因別死亡については、死因分類が変わった平成7年以前(図16-1)と、それ以降(図16-2)とに分けて示した。昭和40年代ごろまでは肺炎・気管支炎や腸炎・その他の下痢性疾患等の感染性の疾患が多かったが、次第に低酸素症・分娩仮死等の呼吸器疾患が多くなり、感染性の疾患は激減した。その後は、先天奇形等や周産期に発生した病態が多くなっている。

平成28年の死因別乳児死亡は、本県では「先天奇形、変形・染色体異常」と「周産期に発症した病態」が同率で31.3%、次いで、「乳幼児突然死症候群」が6.2%となっており「不慮の事故」は3.1%であった。

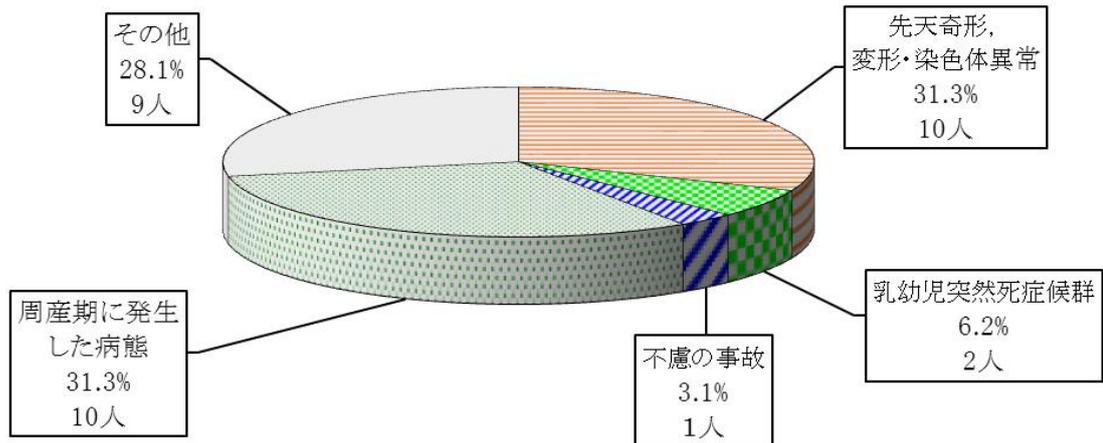


資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」



資料: 本県「衛生統計年報」及び厚生労働省「人口動態統計」

図17 主な死因別乳児死亡数及び割合
(平成28年乳児死亡数32人, 本県)



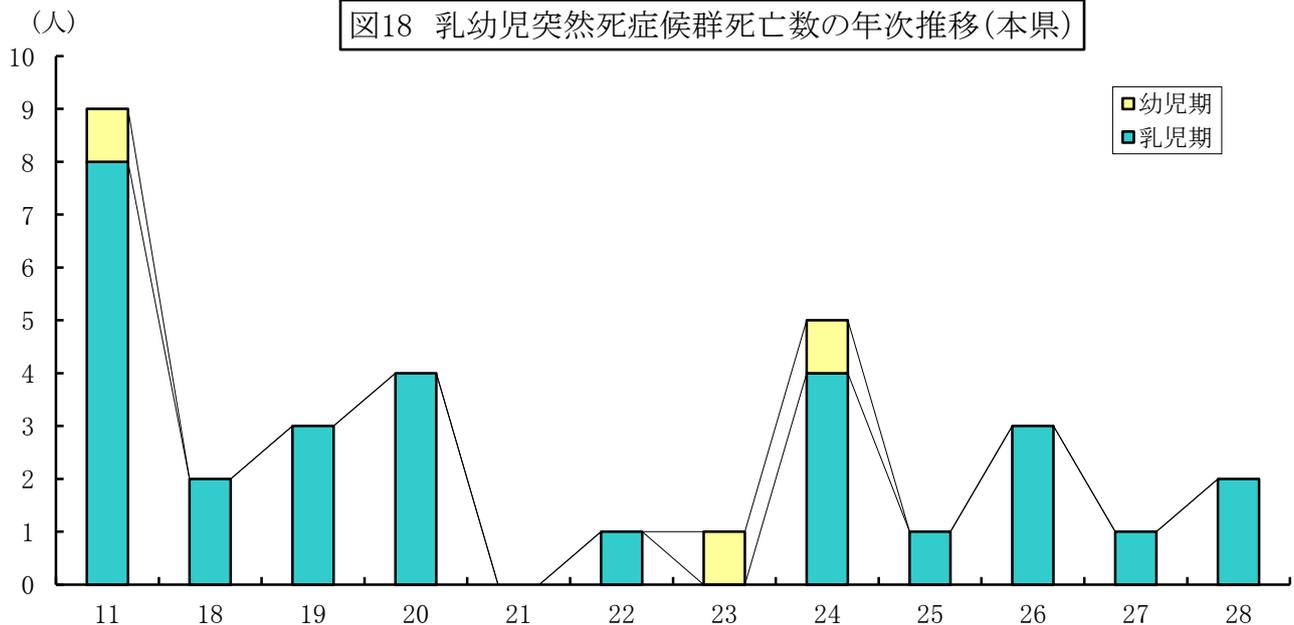
(4) 乳幼児突然死症候群(SIDS)

何の予兆や既往歴のない乳幼児に死をもたらす乳幼児突然死症候群は、その9割が乳児期に起こるといわれている。

全国的には、国が乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間を開始した平成11年度から平成19年まで年々減少傾向にあり、最近ではほぼ横ばいとなっていた。平成28年の死亡数は109人であり、前年から13人の増となった。

本県においては、平成28年は2人の死亡であった。

図18 乳幼児突然死症候群死亡数の年次推移(本県)



年度	11	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
鹿児島県	9 (8)	2 (2)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	5 (4)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	2 (2)
全 国	412	194	158	168	157	147	148	152	125	146	96	109

* ()は乳児期(1歳未満)の死亡数

資料:厚生労働省「人口動態統計」

4 周産期死亡

平成28年の本県の周産期死亡率は3.1であり、前年と比較すると1.0低く、全国の3.6と比べると0.5低い率であった。

妊娠満22週以後の死産は、死産数35胎(死産率2.6)であり、妊娠週数別では、妊娠22週～27週の死産が17胎(48.6%)である。

図19 周産期死亡率の年次推移

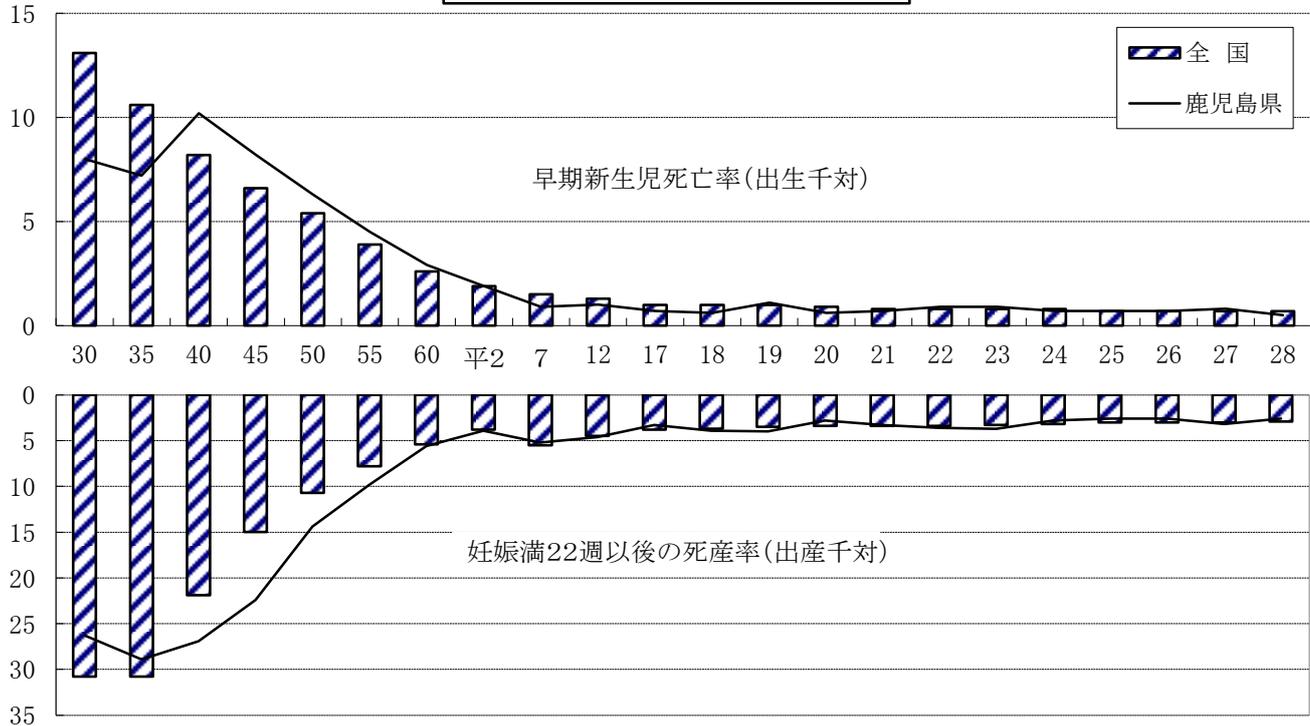


表3 周産期死亡数・率(出産千対), 早期新生児死亡数・率(出生千対)の年次推移

年次	鹿児島県						全国		
	周産期死亡		妊娠満22週以後の死産		早期新生児死亡		周産期死亡率	妊娠満22週以後の死産率	早期新生児死亡率
	死亡数	死亡率	死産数	死産率	死亡数	死亡率			
昭25	—	—	—	—	—	—	46.6	31.5	15.1
30	1,712	34.3	1,312	26.3	400	8.0	43.9	30.8	13.1
35	1,364	36.1	1,092	28.9	272	7.2	41.4	30.8	10.6
40	1,083	37.0	786	26.9	297	10.2	30.1	21.9	8.2
45	744	30.6	545	22.4	199	8.2	21.7	15.0	6.6
50	505	20.6	358	14.4	154	6.3	16.0	10.7	5.4
55	349	14.2	240	9.8	110	4.5	11.7	7.8	3.9
60	197	8.4	130	5.6	67	2.9	8.0	5.4	2.6
平2	108	5.7	73	3.9	35	1.9	5.7	3.8	1.9
7	105	6.3	89	5.2	16	0.9	7.1	5.5	1.5
12	92	5.6	76	4.6	16	1.0	5.8	4.5	1.3
17	60	4.0	49	3.3	11	0.7	4.8	3.8	1.0
18	68	4.5	59	3.9	9	0.6	4.7	3.7	1.0
19	76	5.0	60	4.0	16	1.1	4.5	3.5	1.0
20	53	3.4	43	2.8	10	0.6	4.3	3.4	0.9
21	60	4.0	50	3.3	10	0.7	4.2	3.4	0.8
22	67	4.4	54	3.6	13	0.9	4.2	3.4	0.8
23	69	4.5	56	3.7	13	0.9	4.1	3.3	0.8
24	51	3.4	41	2.8	10	0.7	4.0	3.2	0.8
25	48	3.3	38	2.6	10	0.7	3.7	3.0	0.7
26	47	3.3	37	2.6	10	0.7	3.7	3.0	0.7
27	58	4.1	46	3.2	12	0.8	3.7	3.0	0.7
28	42	3.1	35	2.6	7	0.5	3.6	2.9	0.7

*妊娠満22週以後の死産は、平成6年までは28週以後の死産であった。

資料:厚生労働省「人口動態統計」

図20 平成28年周産期死亡数
県全体=42人

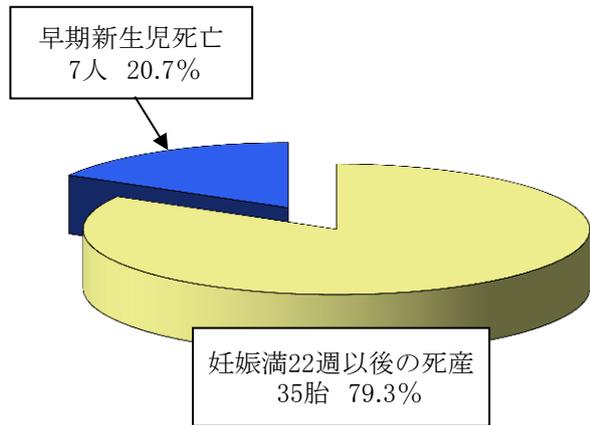


図21 平成28年妊娠満22週以後の死産の妊娠期間別死産数と割合

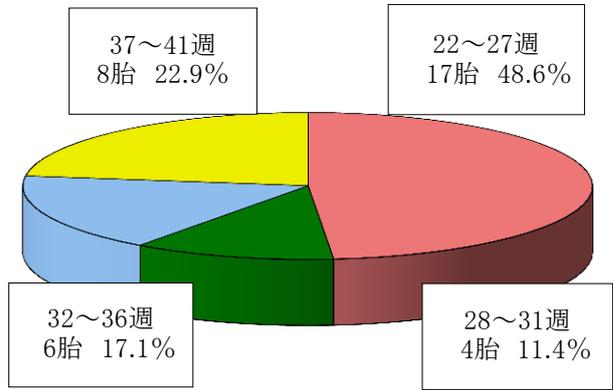
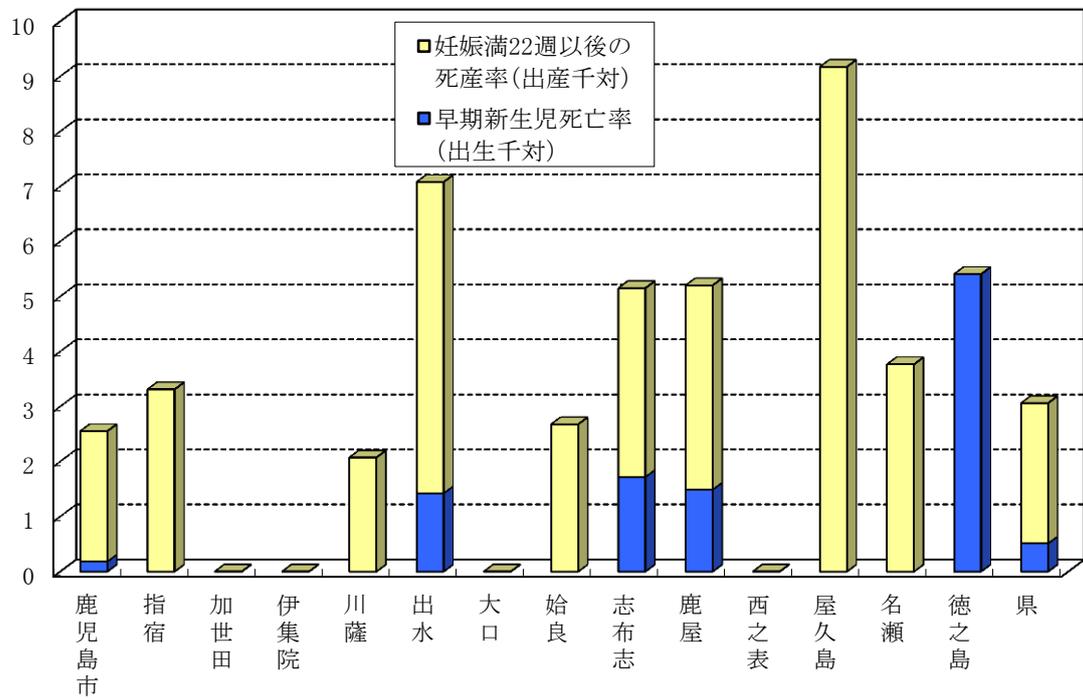


図22 平成28年保健所別周産期死亡率



保健所	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島	県
早期新生児死亡数	1	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	2	7
早期新生児死亡率(出生千対)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	1.7	1.5	0.0	0.0	0.0	5.4	0.5
妊娠満22週以後の死産数	13	1	0	0	2	4	0	5	2	5	0	1	2	0	35
妊娠満22週以後の死産率(出産千対)	2.4	3.3	0.0	0.0	2.1	5.7	0.0	2.7	3.4	3.7	0.0	9.2	3.8	0.0	2.6
周産期死亡数	14	1	0	0	2	5	0	5	3	7	0	1	2	2	42
周産期死亡率(出産千対)	2.6	3.3	0.0	0.0	2.1	7.1	0.0	2.7	5.1	5.2	0.0	9.2	3.8	5.4	3.1

資料:厚生労働省「人口動態統計」

5 死産

(1) 死産率

本県の昭和30年以降の総死産率年次推移は、昭和45年の81.9をピークにその後は漸次減少傾向にあり、平成28年は23.3であったが、全国と比べると依然高率で推移している。

自然死産率は、昭和45年の49.6をピークに減少傾向にあり、平成28年は10.6で全国の10.1より0.5ポイント高かった。

人工死産率は、依然全国より高率で推移しており、平成28年についても12.7と全国の10.9と比べて高率であった。

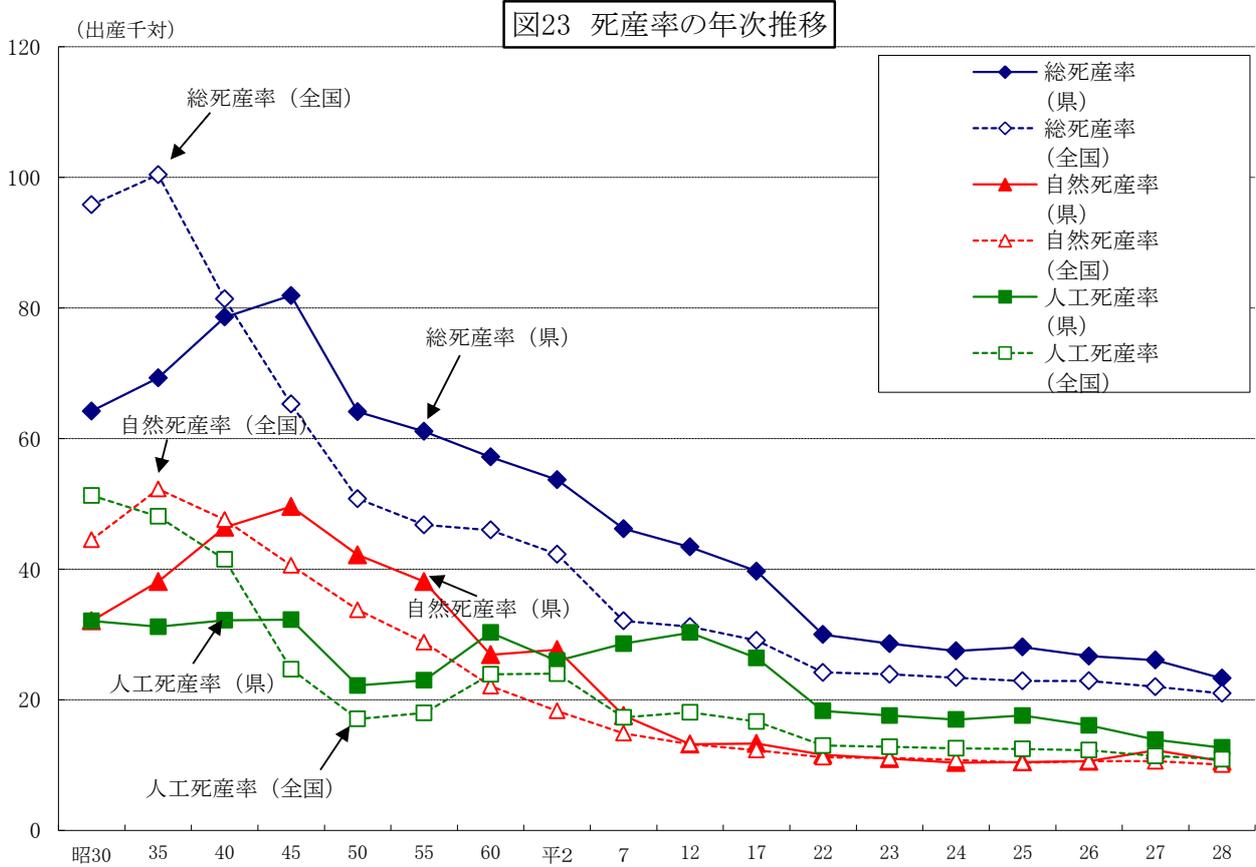


図23 死産率の年次推移

区分	昭30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28
死産総数(県)	3,426	2,818	2,496	2,167	1,692	1,596	1,417	1,072	806	739	613	467	449	419	423	391	379	327
自然死産数(県)	1,712	1,550	1,473	1,313	1,109	903	667	553	306	224	205	181	173	159	158	155	178	149
人工死産数(県)	1,714	1,268	1,023	854	583	603	750	519	500	515	408	286	276	260	265	236	201	178
総死産率(県)	64.2	69.3	78.6	81.9	64.1	61.1	57.2	53.7	46.2	43.4	39.7	30.0	28.6	27.5	28.1	26.7	26.1	23.3
総死産率(全国)	95.8	100.4	81.4	65.3	50.8	46.8	46.0	42.3	32.1	31.2	29.1	24.2	23.9	23.4	22.9	22.9	22.0	21.0
自然死産率(県)	32.1	38.1	46.4	49.6	42.2	38.1	26.9	27.7	17.6	13.2	13.3	11.6	11	10.4	10.5	10.6	12.3	10.6
自然死産率(全国)	44.5	52.3	47.6	40.6	33.8	28.8	22.1	18.3	14.9	13.2	12.3	11.2	11.1	10.8	10.4	10.6	10.6	10.1
人工死産率(県)	32.1	31.2	32.2	32.3	22.2	23.0	30.3	26.0	28.6	30.3	26.4	18.3	17.6	17.0	17.6	16.1	13.9	12.7
人工死産率(全国)	51.3	48.1	41.5	24.7	17.1	18.0	23.9	24.0	17.3	18.1	16.7	13.0	12.8	12.6	12.5	12.3	11.4	10.9

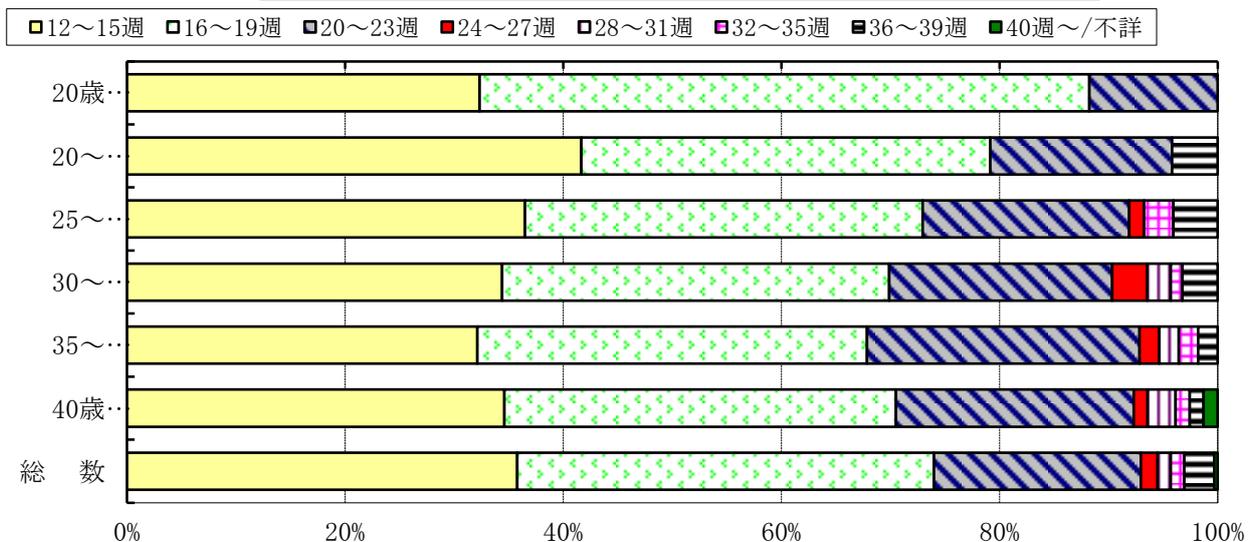
資料:厚生労働省「人口動態統計」

(2) 母の年齢階級別・妊娠期間別死産

平成28年は自然・人工死産別及び妊娠期間別にみると、自然死産では妊娠16～19週が38.2%と最も高く、人工死産においても、妊娠16～19週が40.4%と最も高かった(図25, 表4)。

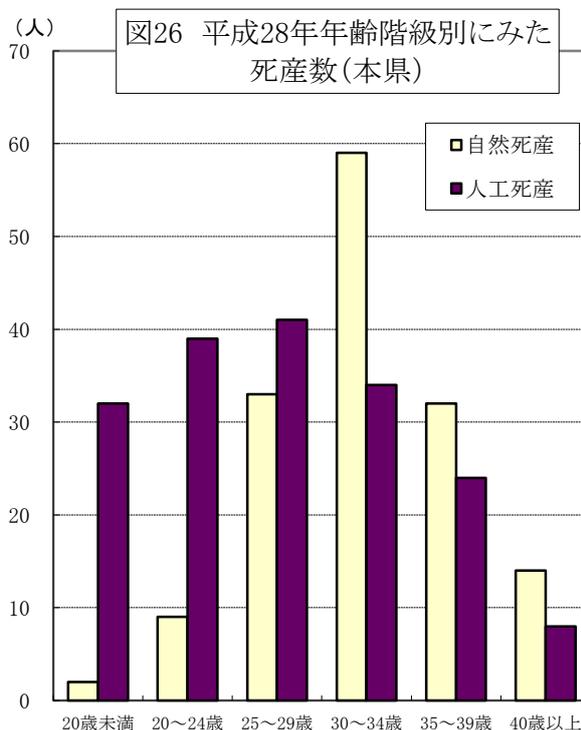
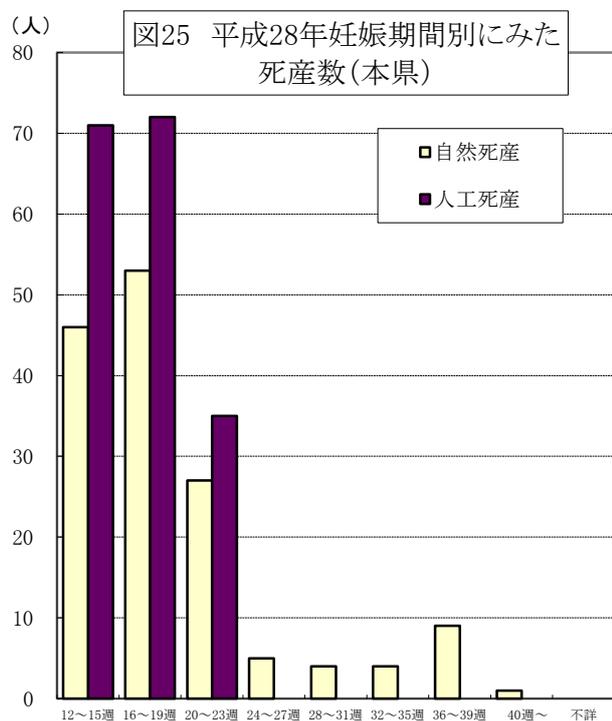
年齢階級別には、自然死産では30～34歳が39.6%、25～29歳が22.1%の順に高く、人工死産では25～29歳未満が23.0%、20～24歳未満が21.9%の順に高かった(図26, 表5)。

図24 平成28年 年齢階級別死産の妊娠期間別割合(本県)



区分	12～15週	16～19週	20～23週	24～27週	28～31週	32～35週	36～39週	40週～/不詳	合計(%)
20歳未満	32.4	55.9	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	41.7	37.5	16.7	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	100.0
25～29歳	36.5	36.5	18.9	1.4	0.0	2.7	4.1	0.0	100.0
30～34歳	34.4	35.5	20.4	3.2	2.2	1.1	3.2	0.0	100.0
35～39歳	32.1	35.7	25.0	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	100.0
40歳以上	34.6	35.9	21.8	1.3	2.6	1.3	1.3	1.3	100.0
総数	35.8	38.2	19.0	1.5	1.2	1.2	2.8	0.3	100.0

資料:厚生労働省「人口動態統計」

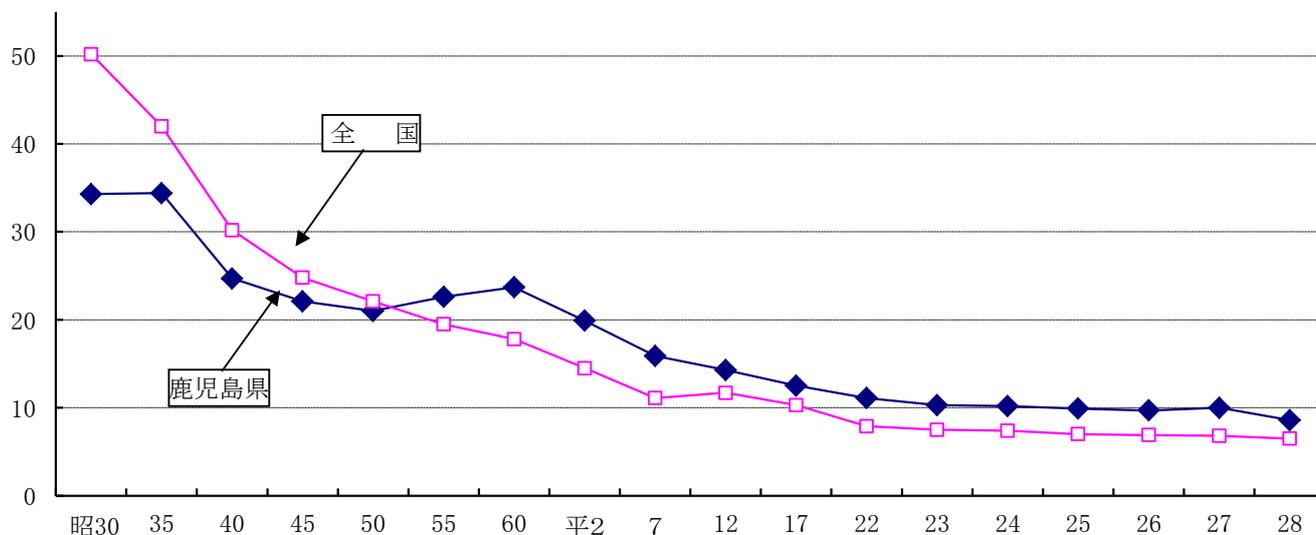


6 人工妊娠中絶

本県の人工妊娠中絶実施率は昭和50年ごろまでは、全国平均を下回っていたが、その後全国平均を上回り、平成28年度は全国より2.1ポイント高い8.6であった。
年齢階級別人工妊娠中絶率でみると、20～24歳、25～29歳、30～34歳の順で多い。

15歳以上50歳未満
女子人口千対

図28 人工妊娠中絶実施率の年次推移

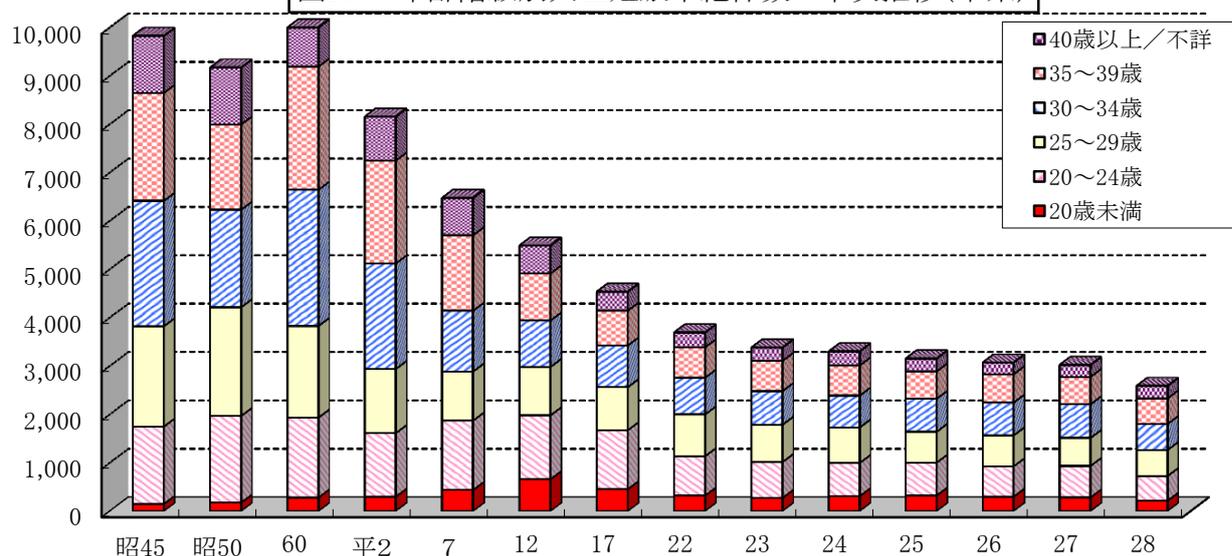


区分	昭30	35	40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28
鹿児島県	34.3	34.4	24.7	22.1	21.0	22.6	23.7	19.9	15.9	14.3	12.5	11.1	10.3	10.2	9.9	9.7	10.0	8.6
全国	50.2	42.0	30.2	24.8	22.1	19.5	17.8	14.5	11.1	11.7	10.3	7.9	7.5	7.4	7.0	6.9	6.8	6.5

資料：厚生労働省「母体保護統計報告」(~平成13年分：年計)、「衛生行政報告例」(平成14年度分～：年度計)

件数

図29 年齢階級別人工妊娠中絶件数の年次推移(本県)



区分	昭45	昭50	60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	H28年齢階級別中絶率
40歳以上/不詳	1,178	1,178	859	909	771	576	391	305	276	291	265	241	247	258	4.9
35～39歳	2,233	1,763	2,547	2,127	1,560	971	719	627	623	621	563	585	565	529	10.8
30～34歳	2,594	2,017	2,819	2,181	1,257	961	861	759	696	659	684	679	695	538	12.2
25～29歳	2,073	2,246	1,892	1,325	1,014	999	890	864	770	733	637	639	579	537	14.5
20～24歳	1,599	1,791	1,653	1,314	1,433	1,321	1,217	813	741	687	680	627	650	510	15.9
20歳未満	149	177	281	299	439	660	456	323	274	309	324	299	285	216	5.7
合計	9,826	9,172	10,051	8,155	6,474	5,488	4,534	3,691	3,380	3,302	3,153	3,070	3,021	2,588	8.6

資料：厚生労働省「母体保護統計報告」(~平成13年分：年計)、「衛生行政報告例」(平成14年度分～：年度計)

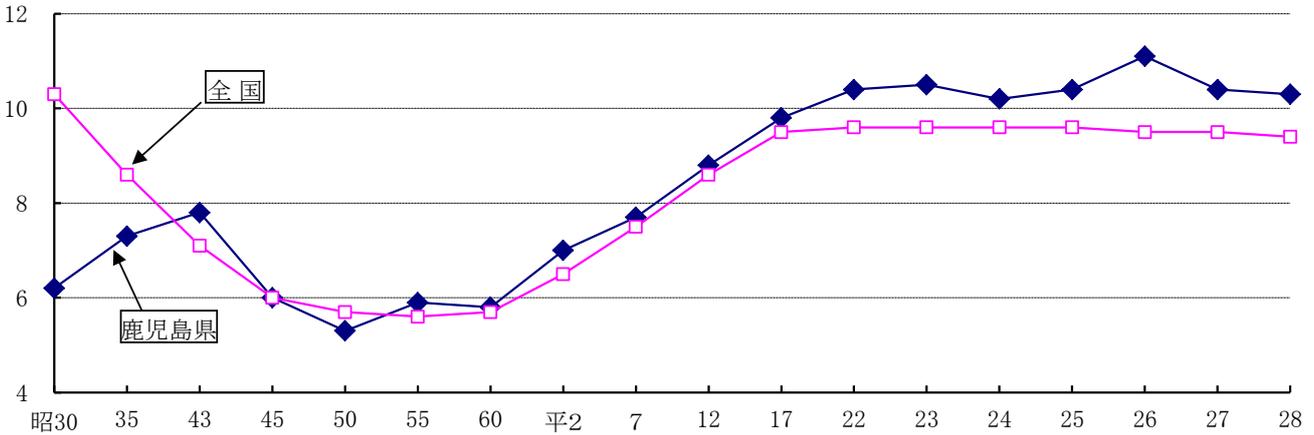
7 低出生体重児

(1) 低出生体重児出生割合

本県の2,500g未満の低出生体重児出生割合は10.3と全国の9.4より高く、また全国を上回って推移している。

出生百分

図31 低出生体重児出生割合の年次推移



区分	昭30	35	43	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28
鹿児島県	6.2	7.3	7.8	6.0	5.3	5.9	5.8	7.0	7.7	8.8	9.8	10.4	10.5	10.2	10.4	11.1	10.4	10.3
全国	10.3	8.6	7.1	6.0	5.7	5.6	5.7	6.5	7.5	8.6	9.5	9.6	9.6	9.6	9.6	9.5	9.5	9.4

*平成6年までは、低出生体重児とは2,500g以下、平成7年からは2,500g未満である。

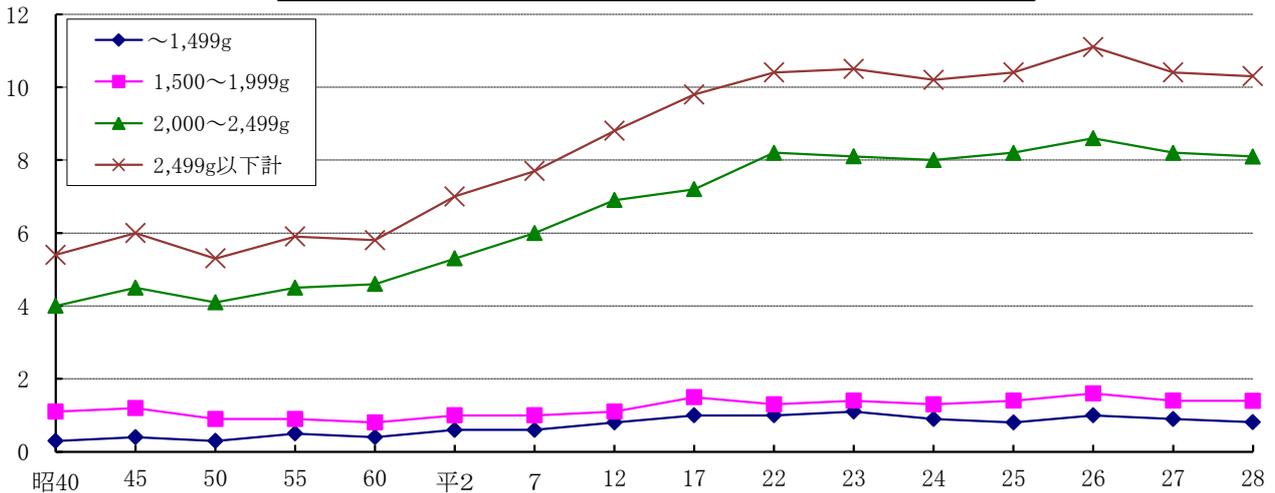
資料：厚生労働省「人口動態統計」

(2) 出生体重別低出生体重児出生割合

本県の低出生体重児を出生体重別にみると、出生体重2,000g未満の割合は概ね横ばいで経過しているが、2,000g～2,499gの出生割合は若干の変動はあるものの増加傾向にあり、平成28年は8.1であった。

出生百分

図32 出生体重別低出生体重児出生割合の年次推移(本県)



年	昭40	45	50	55	60	平2	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28
~1,499g	0.3	0.4	0.3	0.5	0.4	0.6	0.6	0.8	1.0	1.0	1.1	0.9	0.8	1.0	0.9	0.8
1,500~1,999g	1.1	1.2	0.9	0.9	0.8	1.0	1.0	1.1	1.5	1.3	1.4	1.3	1.4	1.6	1.4	1.4
2,000~2,499g	4.0	4.5	4.1	4.5	4.6	5.3	6.0	6.9	7.2	8.2	8.1	8.0	8.2	8.6	8.2	8.1
2,499g以下計	5.4	6.0	5.3	5.9	5.8	7.0	7.7	8.8	9.8	10.4	10.5	10.2	10.4	11.1	10.4	10.3

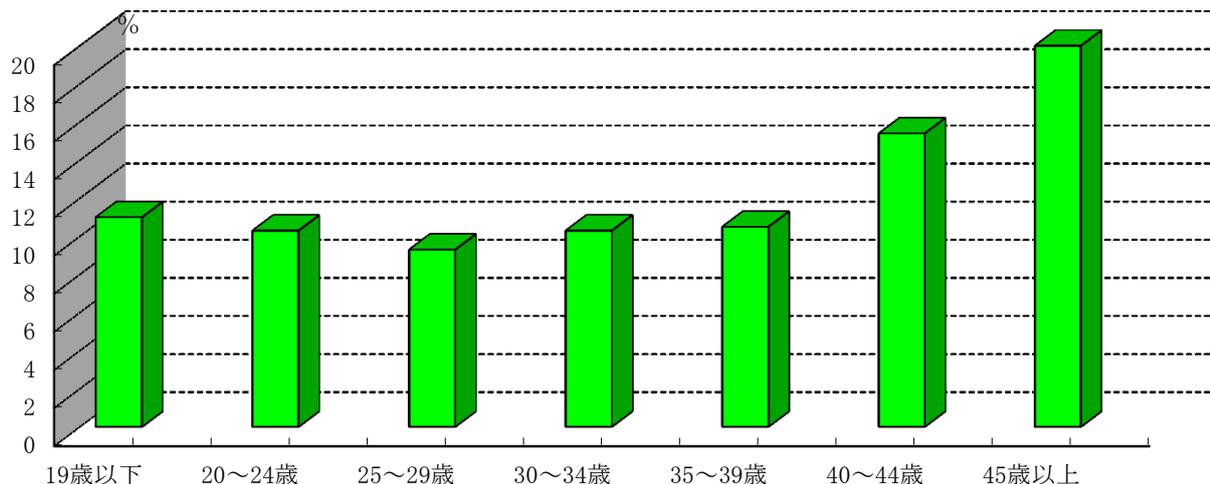
*平成6年までは低出生体重児とは2,500g以下、平成7年からは2,500g未満である。

資料：厚生労働省「人口動態統計」

(3) 母の年齢階級別・子の出生体重別低出生体重児出生割合

母親の年齢階級別に低出生体重児出生割合をみると45歳以上の27.3%、40～44歳の15.4%の順に多かった。

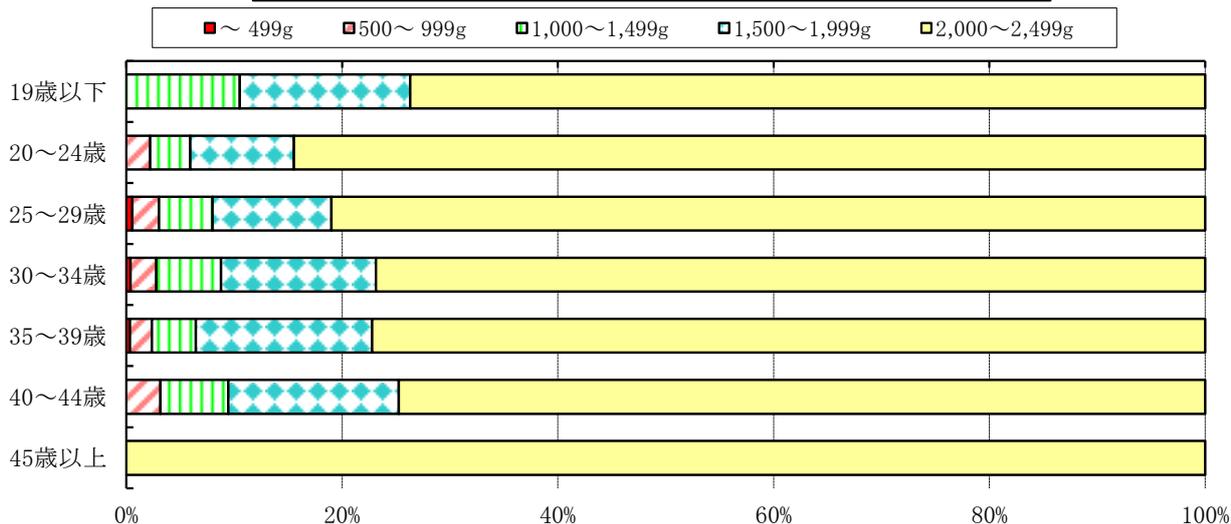
図33 平成28年母の年齢階級別低出生体重児出生割合(本県)



区分	年齢	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	計
2,500g未満	出生割合(%)	11.0	10.3	9.3	10.3	10.5	15.4	27.3	10.3
2,500g未満	出生数(人)	19	135	363	501	294	95	3	1,410
	出生数(人)	173	1,311	3,893	4,885	2,800	615	11	13,688

資料:厚生労働省「人口動態統計」, 県保健医療福祉課「母の年齢階級別・子の出生体重別出生数」

図34 平成28年母の年齢階級別・子の出生体重別割合(本県)

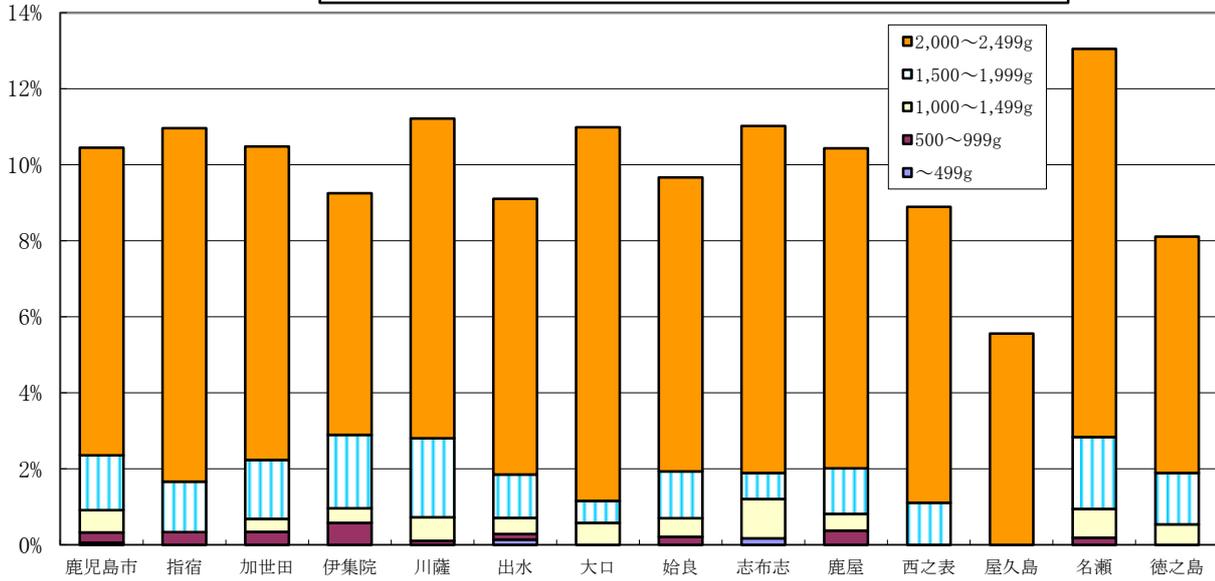


年齢	19歳以下		20～24歳		25～29歳		30～34歳		35～39歳		40～44歳		45歳以上	
	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)	数	割合(%)
～499g	0	0.0	0	0.0	2	0.6	2	0.4	1	0.3	0	0.0	0	0.0
500～999g	0	0.0	3	2.2	9	2.5	12	2.4	6	2.0	3	3.2	0	0.0
1,000～1,499g	2	10.5	5	3.7	18	5.0	30	6.0	12	4.1	6	6.3	0	0.0
1,500～1,999g	3	15.8	13	9.6	40	11.0	72	14.4	48	16.3	15	15.8	0	0.0
2,000～2,499g	14	73.7	114	84.4	294	81.0	385	76.8	227	77.2	71	74.7	3	100.0
合計	19	100	135	100	363	100	501	100	294	100	95	100	3	100

資料:厚生労働省「人口動態統計」, 県保健医療福祉課「母の年齢階級別・子の出生体重別出生数」

(出生数に対する割合)

図35 平成28年保健所別出生体重別低出生体重児出生割合



保健所 体重(g)		合計	鹿児島市	指宿	加世田	伊集院	川薩	出水	大口	始良	志布志	鹿屋	西之表	屋久島	名瀬	徳之島
		~499g	人	5	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
	率	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
500~999g	人	33	15	1	2	3	1	1	0	4	0	5	0	0	1	0
	率	0.2	0.3	0.3	0.3	0.6	0.1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.2	0.0
1,000~1,499g	人	73	32	0	2	2	6	3	1	9	6	6	0	0	4	2
	率	0.5	0.6	0.0	0.3	0.4	0.6	0.4	0.6	0.5	1.0	0.4	0.0	0.0	0.8	0.5
1,500~1,999g	人	191	79	4	9	10	20	8	1	23	4	16	2	0	10	5
	率	1.4	1.4	1.3	1.5	1.9	2.1	1.1	0.6	1.2	0.7	1.2	1.1	0.0	1.9	1.4
2,000~2,499g	人	1,108	443	28	48	33	81	51	17	144	53	113	14	6	54	23
	率	8.1	8.1	9.3	8.2	6.4	8.4	7.3	9.8	7.7	9.1	8.4	7.8	5.6	10.2	6.2
計	人	1,410	572	33	61	48	108	64	19	180	64	140	16	6	69	30
	率	10.3	10.4	11.0	10.5	9.2	11.2	9.1	11.0	9.7	11.0	10.4	8.9	5.6	13.0	8.1
全出生数	人	13,688	5,474	301	582	519	963	703	173	1,863	581	1,342	180	108	529	370

資料:厚生労働省「人口動態統計」, 県保健医療福祉課「保健所別出生体重別出生数」

(注)率は, 出生数に対する低出生体重児の割合(単位:%)

表7 出生児の体重別出生数の年次推移(本県)

(単位:人)

	総数	2,500g 未 満 (再掲)	~499g	500 ~ 999g	1,000 ~ 1,499g	1,500 ~ 1,999g	2,000 ~ 2,499g	2,500 ~ 2,999g	3,000 ~ 3,999g	4,000g ~	不詳
昭和60	23,375	1,362	1	26	77	190	1,068	6,435	14,905	668	5
平成2	18,892	1,323	2	37	80	198	1,006	5,642	11,541	383	3
平成7	16,649	1,278	2	32	70	169	1,005	5,566	9,533	271	1
平成12	16,272	1,424	1	51	76	171	1,125	5,853	8,798	193	4
平成17	14,834	1,449	5	52	95	225	1,072	5,561	7,688	136	0
平成22	15,124	1,577	2	52	93	195	1,235	5,788	7,637	122	0
平成23	15,244	1,604	13	61	87	210	1,233	5,905	7,620	114	1
平成24	14,841	1,510	9	44	77	186	1,194	5,679	7,529	119	4
平成25	14,637	1,528	8	49	65	200	1,206	5,696	7,295	117	1
平成26	14,236	1,587	11	50	76	232	1,218	5,390	7,152	105	2
平成27	14,125	1,475	5	43	76	196	1,155	5,482	7,057	105	6
平成28	13,688	1,410	5	33	73	191	1,108	5,332	6,824	117	5

*平成6年までは, 低出生体重児とは2,500g以下, 平成7年からは2,500g未満である。

資料:厚生労働省「人口動態統計」

表8 低出生体重児出生割合全国比較

順位	H7年		H12年		H17年		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
1	徳島	6.3	山形	7.6	山形	8.0	福井	8.5	山形	8.2	徳島	8.4	富山	8.1	福井	8.2	青森	8.7	青森	8.4
2	富山	6.5	福井	7.7	福井	8.0	新潟	8.8	福井	8.2	石川	8.6	香川	8.3	富山	8.6	福井	8.7	石川	8.6
3	長野	6.5	徳島	7.9	石川	8.5	石川	8.8	香川	8.5	愛媛	8.6	福井	8.6	大分	8.6	千葉	8.8	岡山	8.6
4	新潟	6.6	青森	7.9	三重	8.6	岡山	8.8	長崎	8.6	山形	8.8	山形	8.9	青森	8.7	富山	8.9	愛媛	8.6
5	和歌山	6.6	新潟	7.9	徳島	8.6	富山	8.9	富山	8.7	福井	8.8	三重	8.9	岐阜	8.7	徳島	9.0	熊本	8.7
6	奈良	6.7	愛媛	7.9	宮城	8.7	山形	9.0	岡山	8.8	長崎	8.8	長崎	8.9	徳島	8.7	山形	9.1	福井	8.8
7	山形	6.7	石川	8.1	秋田	8.7	奈良	9.1	石川	8.9	富山	8.9	熊本	8.9	愛媛	8.8	東京	9.1	群馬	9.0
8	岩手	6.7	鳥取	8.1	富山	8.7	愛媛	9.1	徳島	8.9	三重	8.9	岡山	9.0	香川	8.9	岐阜	9.1	新潟	9.0
9	福井	6.9	長崎	8.1	新潟	8.8	宮城	9.2	大分	8.9	和歌山	8.9	愛媛	9.0	山形	9.0	香川	9.1	大阪	9.0
10	滋賀	6.9	京都	8.1	滋賀	8.9	千葉	9.2	新潟	9.0	奈良	9.0	和歌山	9.1	奈良	9.0	佐賀	9.1	高知	9.0
11	香川	6.9	千葉	8.2	鳥取	8.9	三重	9.2	三重	9.0	岡山	9.1	石川	9.2	千葉	9.1	岩手	9.2	長崎	9.0
12	青森	7.0	三重	8.2	岡山	8.9	和歌山	9.2	岩手	9.1	佐賀	9.1	青森	9.3	石川	9.1	兵庫	9.2	岐阜	9.1
13	秋田	7.0	秋田	8.2	千葉	9.0	岐阜	9.3	福島	9.1	大分	9.1	千葉	9.3	長崎	9.1	奈良	9.2	香川	9.1
14	群馬	7.0	福島	8.3	香川	9.0	熊本	9.3	佐賀	9.1	岩手	9.3	新潟	9.3	東京	9.2	岡山	9.2	北海道	9.2
15	岐阜	7.0	大分	8.3	愛媛	9.1	岩手	9.4	千葉	9.2	千葉	9.3	大分	9.3	岡山	9.3	長崎	9.2	埼玉	9.2
16	宮城	7.1	香川	8.3	長崎	9.1	群馬	9.4	奈良	9.2	東京	9.3	東京	9.4	山口	9.3	北海道	9.3	千葉	9.2
17	愛媛	7.1	島根	8.3	福島	9.2	東京	9.4	熊本	9.2	新潟	9.3	神奈川	9.4	埼玉	9.4	宮城	9.3	東京	9.2
18	岡山	7.1	岩手	8.3	大分	9.2	滋賀	9.4	群馬	9.3	長野	9.3	岐阜	9.4	佐賀	9.4	三重	9.3	三重	9.2
19	兵庫	7.2	熊本	8.3	青森	9.3	香川	9.4	青森	9.4	香川	9.3	滋賀	9.4	宮城	9.5	滋賀	9.3	滋賀	9.2
20	千葉	7.3	滋賀	8.3	島根	9.3	青森	9.5	埼玉	9.4	鳥取	9.4	大阪	9.4	茨城	9.5	大阪	9.3	山形	9.3
21	熊本	7.3	宮城	8.3	岩手	9.4	埼玉	9.5	愛媛	9.4	青森	9.5	山口	9.4	群馬	9.5	神奈川	9.4	茨城	9.4
22	大分	7.3	長野	8.4	茨城	9.4	大分	9.5	宮城	9.5	宮城	9.5	長野	9.5	神奈川	9.5	長野	9.4	奈良	9.4
23	高知	7.3	奈良	8.4	東京	9.4	福島	9.6	茨城	9.5	秋田	9.5	群馬	9.6	新潟	9.5	愛媛	9.4	山口	9.4
24	神奈川	7.4	和歌山	8.4	広島	9.4	茨城	9.6	東京都	9.5	埼玉	9.5	埼玉	9.6	長野	9.5	福島	9.5	佐賀	9.4
25	京都	7.5	兵庫	8.5	神奈川	9.5	神奈川	9.6	神奈川	9.6	岐阜	9.5	愛知	9.6	熊本	9.5	群馬	9.5	福島	9.5
26	鳥取	7.5	群馬	8.5	岐阜	9.5	兵庫	9.6	愛知	9.6	大阪	9.5	奈良	9.6	京都	9.6	埼玉	9.5	神奈川	9.5
27	埼玉	7.5	佐賀	8.6	奈良	9.5	広島	9.6	兵庫	9.6	兵庫	9.5	広島	9.6	大阪	9.6	新潟	9.5	長野	9.6
28	愛知	7.6	岡山	8.6	和歌山	9.5	徳島	9.6	北海道	9.7	滋賀	9.6	北海道	9.7	兵庫	9.6	石川	9.5	京都	9.6
29	福島	7.6	岐阜	8.6	熊本	9.5	長野	9.7	岐阜	9.7	広島	9.6	岩手	9.7	広島	9.6	京都	9.5	兵庫	9.6
30	大阪	7.6	東京	8.7	埼玉	9.6	大阪	9.7	大阪	9.7	北海道	9.7	茨城	9.7	北海道	9.7	熊本	9.5	和歌山	9.6
31	長崎	7.6	富山	8.7	長野	9.6	北海道	9.8	山口	9.7	福島	9.7	京都	9.7	岩手	9.7	大分	9.5	福岡	9.6
32	佐賀	7.6	神奈川	8.7	佐賀	9.6	秋田	9.8	山梨	9.8	神奈川	9.7	兵庫	9.7	福島	9.7	和歌山	9.6	大分	9.6
33	広島	7.6	大阪	8.7	北海道	9.7	愛知	9.8	京都	9.8	熊本	9.7	島根	9.7	三重	9.7	鳥取	9.6	宮城	9.7
34	茨城	7.6	愛知	8.7	栃木	9.7	佐賀	9.8	福岡	9.8	茨城	9.8	佐賀	9.7	福岡	9.7	秋田	9.7	富山	9.7
35	鹿児島	7.7	鹿児島	8.8	鹿児島	9.8	鳥取	9.9	秋田	9.9	群馬	9.8	宮城	9.8	愛知	9.8	茨城	9.7	愛知	9.7
36	東京	7.7	埼玉	8.8	群馬	9.8	山口	9.9	滋賀	9.9	愛知	9.8	徳島	9.8	滋賀	9.8	広島	9.7	広島	9.7
37	三重	7.8	広島	8.8	京都	9.8	長崎	9.9	和歌山	9.9	京都	9.8	鳥取	9.9	和歌山	9.8	愛知	9.8	岩手	9.8
38	石川	7.8	宮崎	8.8	山口	9.8	宮崎	10.0	鳥取	9.9	山口	9.8	秋田	10.0	静岡	10.0	山口	9.9	宮崎	9.9
39	島根	7.8	茨城	8.8	愛知	9.9	京都	10.1	長野	10.0	福岡	9.9	福島	10.0	秋田	10.2	福岡	9.9	鳥取	10
40	山口	7.9	山口	9.1	大阪	9.9	静岡	10.2	広島	10.0	宮崎	10.1	福岡	10.0	山梨	10.2	静岡	10	静岡	10
41	山梨	8.0	北海道	9.1	兵庫	9.9	福岡	10.2	静岡	10.1	静岡	10.2	山梨	10.2	鳥取	10.2	高知	10	島根	10
42	北海道	8.0	高知	9.2	福岡	10.0	栃木	10.3	鹿児島	10.5	鹿児島	10.2	静岡	10.2	栃木	10.3	山梨	10	山梨	10
43	宮崎	8.0	静岡	9.3	宮崎	10.2	鹿児島	10.4	栃木	10.5	栃木	10.5	鹿児島	10.4	宮崎	10.6	島根	10	徳島	10
44	静岡	8.3	栃木	9.4	高知	10.3	高知	10.5	高知	10.5	島根	10.5	宮崎	10.4	高知	10.7	宮崎	10	鹿児島	10.3
45	福岡	8.4	福岡	9.4	静岡	10.5	島根	10.7	宮崎	10.5	山梨	10.6	高知	10.7	島根	10.8	鹿児島	10.4	栃木	10.4
46	栃木	8.8	山梨	9.8	山梨	10.6	山梨	11.2	沖縄	10.6	高知	11.2	栃木	11.0	鹿児島	11.1	栃木	11	秋田	11
47	沖縄	9.3	沖縄	10.3	沖縄	10.9	沖縄	11.2	島根	10.8	沖縄	11.6	沖縄	11.4	沖縄	11.5	沖縄	11	沖縄	11

資料：厚生労働省「人口動態統計」